Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 CF-E1

98

WiLL PC

活用編（アプリケーション）

インターネット・電子メール・DVD

説明書の構成

取扱説明書

セットアップ編

コンピューターを使うための準備作業について説明しています。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を具体例を通して説明しています。

活用編（本体）

安全上のご注意などの取り扱いについてやオンラインマニュアルの使いかた、便利な機能、機能の拡張方法などについて説明しています。

活用編（アプリケーション） 本書

インターネットや電子メールの基本操作、動画や静止画の取り込み、DVDビデオディスクの再生など、アプリケーションソフトについて説明しています。

オンラインマニュアル

画面上で表示できるマニュアルです。
オンラインマニュアルの見かたについては、取扱説明書『活用編（本体）』をご覧ください。

困ったときのQ&A

本機が思ったように動かないなど、困ったときの対処法をQ&A方式で説明しています。

パソコン・サポートとつきあう方法

初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。
（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）

内蔵モデムコマンド一覧

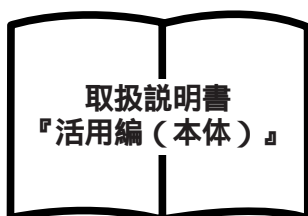
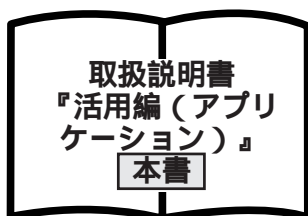
内蔵モデムのコマンドを使って通信する場合にご利用ください。

上手に使って上手に節電

はじめに

ご使用にあたって、取扱説明書『活用編（本体）』の「安全上のご注意」を必ずお読みください。本製品を安全にお使いいただく上で大切な情報が記載されています。

取扱説明書の効果的な使いかた

この説明書では、Windows（ウィンドウズ）をセットアップし、コンピューターを使用できる状態にするまでを説明しています。
初めてのかたは、「Windows入門」を説明書通りに操作すると、Windowsの基本操作を体験でき、下記説明書の内容を理解しやすくなります。

この説明書では、本機を使用していく上での留意点、各部の働き、便利な設定や周辺機器の拡張など、総合的な内容を説明しています。
オンラインマニュアルの使い方についても、この説明書をご覧ください。

本書では、インターネットや電子メール、DVDビデオの再生などのアプリケーションソフトについて説明しています。
必要に応じて『活用編（本体）』もご覧ください。

コンピューターが思ったように動かないとき	⇨	オンラインマニュアル 困ったときのQ&A 取扱説明書『活用編（本体）』困ったときのQ&A
ご相談窓口を利用する前に	⇨	オンラインマニュアル パソコン・サポートとつきあう方法
モデムのATコマンドを使って通信をするとき	⇨	オンラインマニュアル 内蔵モデムコマンド一覧

表記の約束

- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
  （例）［N み］は［N］や［み］と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すときは、次のように「＋」を使って表記します。
  （例）［Alt］＋［半角/全角］：［Alt］を押しながら［半角/全角］を押します。
- [スタート]→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）

本書ではこんな内容を説明しています

インターネットをすぐに気軽に楽しむ

●インターネットスターター（→11ページ）
インターネットへの接続窓口 Panasonic Hi-HO（ハイホー）への加入手続きと複雑な通信設定が簡単にでき、インターネットをすぐに始められます。

●Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）（→19ページ）
ホームページを見るためのソフトです。本書では基本機能に絞って紹介しています。

●ウェブナビゲーター（→25ページ）
「どんなホームページがあるの？」というあなたに、さまざまなホームページを一覧表示し紹介します。

●Outlook Express（アウトルックエクスプレス）（→33ページ）
電子メールソフトです。本書では基本機能に絞って紹介しています。

●メール着信お知らせ機能（→40ページ）
メールの着信をチェックして、お知らせします。

●メールボタン（→42ページ）
メールボタンをワンタッチするだけで、メールの自動送受信ができます。

DVD ビデオディスクを鑑賞する

●DVDドリームプレーヤー（→70ページ）
ビジュアルブライト液晶ならではの鮮明な画像でDVDビデオディスクを鑑賞できます。

画像を取り込む

●DVキャプチャー（→54ページ）
デジタルビデオカメラなどから簡単に動画や静止画を取り込めます。

画像を一覧表示する

●イメージブラウザー（→60ページ）
画像ファイルをアルバムのように一覧表示して管理、利用できます。

電子メールに画像などを入れて送る

●ボイスオンメール（→64ページ）
取り込んだ静止画に音声を付けてメールで送信することができます。

●ムービーオンメール（→66ページ）
取り込んだ動画を圧縮してメールで送信します。動画の再生プレーヤーソフト付きで送れるので、相手の方も簡単に再生できます。

●似顔絵メール（→68ページ）
取り込んだ静止画をイラスト調（似顔絵調）に加工して、メールで送信することができます。

●イラストメール（→44ページ）
テキスト文字でできたイラストをイラスト集（約170個）から選んで送信することができます。

もくじ

インターネット

準備

ホームページ

画像と活用

DVキャプチャー

DVD

DVDドリームプレーヤー

インターネット

世界的規模のコンピューターネットワークであるインターネット。本書では、ホームページの閲覧と電子メールに焦点をあてて、インターネットの世界への扉を開きます。

もくじ

準備

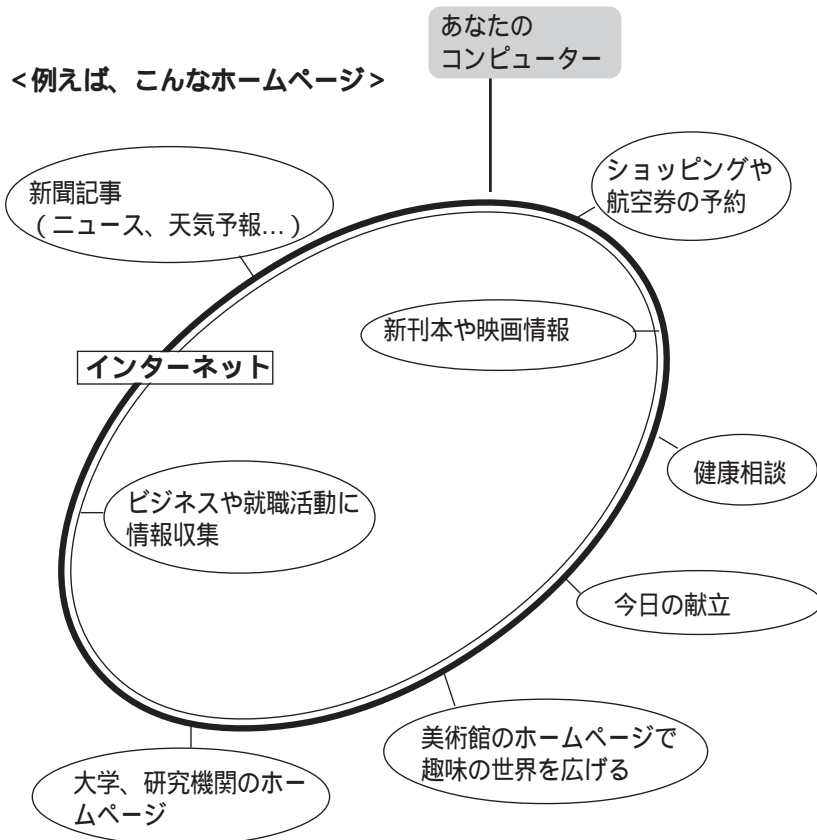
ホームページ

電子メール

イラストメール

インターネットって何だろう

インターネットとは

インターネットは、クモの巣のように世界中に張り巡らされたコンピューターネットワークです。インターネットに接続することで、自分のコンピューターから世界中で公開されているホームページを見たり、電子メール（→32ページ）を交換したりできます。また、自分のホームページを作って、発信することもできます。

インターネットで気を付けること

- インターネット上のデータには、創作者、著作者などの著作権があります。個人的複製以外の複製、翻訳、翻案、送信、出版、販売、改変など、著作権者の同意なしに権利を侵害する行為は禁じられています。
- インターネット上に情報を発信するということは、世界中の人々に向けて情報を発信するということです。場合によっては、大きな影響を及ぼすことにもなりますので、十分に注意してください。
- インターネット上の情報の信頼性については、一般的な社会通念に基づき、ご自身で判断してください。

用 語

ホームページ　：インターネット上のコンピューターに接続したときに最初に表示される情報画面です。本でいえば目次のようなものです。ホームページから、さらにそこに関連付けられているさまざまなページを表示することができます。

インターネットに必要なこと

＜電話回線との接続＞
インターネットをするときは、コンピューターのモデムコネクターと電話回線をつなぎます。
（→次ページ）

＜プロバイダーへの加入、通信の設定＞
プロバイダーは、あなたのコンピューターを電話回線からインターネットへ接続してくれる会社です。インターネットをするには、いずれかのプロバイダーへ加入する必要があります。「インターネットスターター」（→11ページ）を使うと、プロバイダー「Panasonic Hi-HO」にフリーダイヤルで接続し、オンライン上で加入手続きができます。また、手続き終了後、自動的にインターネットの接続設定やメールの設定が行われます。複雑な通信設定を自分で行う必要がないのでとても便利です。

◀ Hi-HO以外のプロバイダーに加入する場合は、各プロバイダーにお問い合わせのうえ、加入手続きを行ってください。また、加入後の通信設定も各プロバイダーの指示に従って行ってください。

＜必要な費用＞
費用＝電話料金＋接続料金
（加入時には、新規加入料金が必要です。）

◀電話料金
国内のホームページか、海外のホームページかに関わらず、最寄りのアクセスポイントまでの電話料金がかかります。

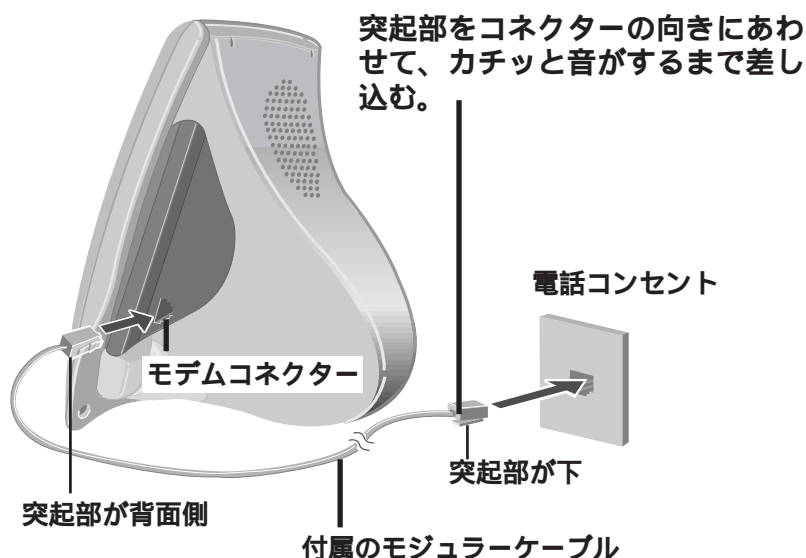
◀接続料金
インターネットへの接続サービスに対してプロバイダーに支払う料金です。Hi-HOの場合については、付属の案内をご覧ください。

用 語

モデム　：コンピューターのデータ信号を音声信号に変換し、送り出す装置です。（本機はモデムを内蔵しています。）

アクセスポイント　：プロバイダーへの接続ポイントです。あなたの使用場所に一番近いところを選びます。

電話回線に接続する

内蔵のモデムと電話コンセントを接続します。

お願い

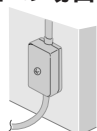
本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

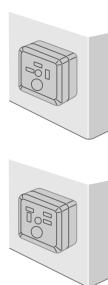
モジュラーケーブルを取り外すときは突起部を押さえながら引き抜いてください。

使用する電話回線について

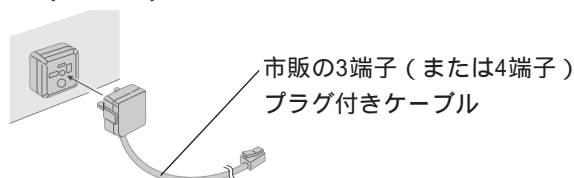
・日本国内の一般電話回線で使用してください。
・会社、事務所等の内線電話回線等には、接続しないでください。
（→『活用編（本体）』「安全上のご注意」）
・以下の特性が異なる回線に接続すると、本機が故障する恐れがあります。
NTTのピンク電話の回線
ホームテレホン（接続ボックス）
玄関ドアホン等
日本国外の回線

電話回線がモジュラージャックでないとき

＜ローゼットの場合＞

最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。

＜３端子（または４端子）ジャックの場合＞

以下の2とおりの方法があります。

・最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。資格のない方が工事をすることは認められていません。
・一方がモジュラープラグで、他方が3端子（または4端子）プラグのケーブル（市販品）を用意し、以下のようにつなぎます。

市販の3端子（または4端子）
プラグ付きケーブル

プロバイダーHi-HOに加入し、通信の設定をする(初回のみ)

インターネットに接続するにはプロバイダー（接続サービス会社）に加入する必要があります。
「インターネットスターター」を使うと、プロバイダー「Panasonic Hi-HO」（以後、Hi-HO）への加入手続きが画面上で簡単にできます。また、手続き終了後、インターネット接続やメールの送受信のための複雑な設定が自動的に行われるので、すぐにインターネットが使えて便利です。
ここでは「インターネットスターター」を使ってHi-HOに加入する方法について説明します。

◀ Hi-HOに加入する場合は必ず、「インターネットスターター」をご利用ください。Hi-HO以外のプロバイダーに加入する場合は、デスクトップの「インターネットへ接続」を使用してください。

準備するもの

Hi-HOに電話をかけるために電話回線と接続します。（→前ページ）
加入の前に、あらかじめ次の準備をしておきましょう。

＜申し込みコースを決める＞
「Hi-HOのご案内」のパンフレット（付属）を見て決めておきます。

＜ご本人名義のクレジットカードを準備する＞
カードの会員番号や有効期限を入力する必要があります。

Hi-HO で利用できるクレジットカード
JCB・VISA・MASTER・DC・UC・ミリオン・NICOS・AMEX・ダイナース・Panaカード・松下カード
（1999年9月現在）

＜希望するメールアカウントを決める＞
電子メールをやり取りするときに必要な「メールアカウント」（利用者を示す名称）の希望を決めておきます。
（「松下太郎」さんのメールアカウントの例）

matsushita_taro
matsushita
m-taro
taro_chan

◀希望のメールアカウントが、すでに誰かに割り当てられている場合、そのメールアカウントは登録できません。

メールアカウントとして使用可能な文字
英小文字と数字、ハイフン（-）、アンダーバー（_）を使い、4文字以上、16文字以下で決めます。

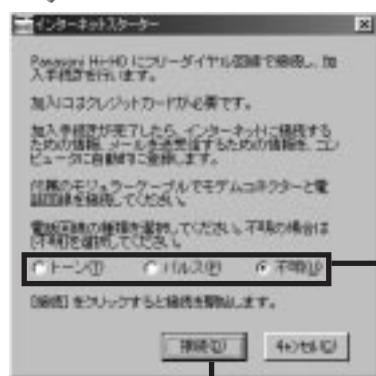
◀メールアカウントは、メールアドレスの一部として使用されます。
（例）
matsushita_taro@dab.hi-ho.ne.jp

「インターネットスターター」による加入、設定について

- Hi-HOにフリーダイヤルで接続するため、加入手続き中の電話料金はかかりません。
- 加入・設定時は、内蔵モデムから通常のアナログ電話回線を使って操作してください。携帯電話やPHS電話は使用できません。また、ISDN回線は使用できません。
- ホームページ閲覧ソフトとして「Internet Explorer 5.0」、メールソフトとして「Outlook Express 5」を使用することを前提として、自動的に通信設定を行います。その他のソフトウェアをご使用になる場合は、別途、通信設定を行ってください。

プロバイダーHi-HOに加入し、通信の設定をする

設定が終わるまでに、約15〜20分かかります。
下記手順に従って、続けて操作してください。

1 デスクトップの[インターネットスターター]アイコンをダブルクリックする。

Hi-HOへ自動ダイヤルし、接続します。（フリーダイヤル）

▼をクリックし、お申し込み手順などを、よく読む。

お願い

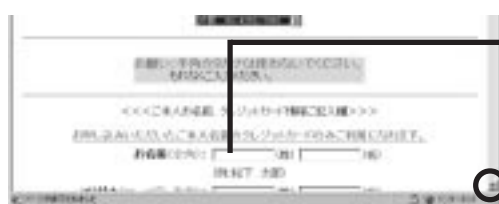
[コントロールパネル]→[パスワード]でWindows起動時のパスワードを設定している場合は、必ずWindows起動時にパスワードを入力しておいてください。

◀電話回線の種類について
- トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線。
- パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線。
- 不明　：トーンかパルスかが不明な場合に選んでください。まず、トーンで接続を開始し、つながらなければ、パルスで接続し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。

◀このとき、[終了]をクリックすると、接続を切断し、「インターネットスターター」が終了します。

回線がつながらないときは
- 話し中の場合（回線が混雑しているとき）は、モジュラーケーブルの接続を確認し、少し待ってから「インターネットスターター」の操作をし直してください。
- 電話回線の種類の設定が正しいかを確認してください。

2 「加入申込書」に必要事項を入力する。

各欄の入力例や説明をよく読んで入力してください。

お願い

加入申込書には「ご自宅ファックス」、「お勤め先・学校名」、「お勤め先電話番号」以外は必ずご記入ください。「ご自宅住所」には、ビル名や部屋番号など、郵便物が届くのに必要な情報をきちんと入力してください。きちんと入力していないと、Hi-HOから資料などを郵送できない場合があります。

全角と半角(ローマ字・数字)

各項目とも、指定の通りに入力してください。Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに全角入力モードと半角入力モードが切り換わります。

項目間のカーソル（I）移動

Tab を押す： 次の項目へ

Shift ＋ Tab を押す： 一つ前の項目へ

「性別」

該当する方の○をクリックし、◉にします。

数字を入力する項目

「生年月日」やクレジットカードの「有効期限」など、1桁の数字を入力する場合、「03」のように数字の前に0を付けてください。

入力を間違えたら

間違えた文字の右側をクリックすると、カーソルが表示されます。Back space を押すと、カーソルの左となりの文字を消すことができます。

お願い

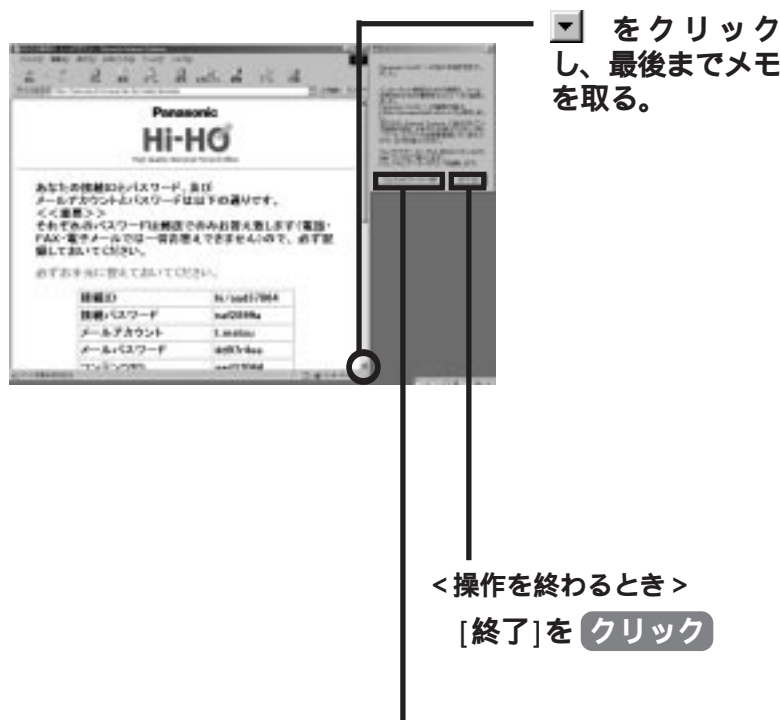
[登録]ボタンは、ダブルクリックしないでください。2重に登録される場合があります。

プロバイダーHi-HOに加入し、通信の設定をする（初回のみ）

加入手続きが終わると、自動的にコンピューターへの設定が行われます。

3 登録内容のメモを取る。

▼をクリックし、最後までメモを取る。

<操作を終わるとき>
［終了］を クリック

<ウェブナビゲーターを操作するとき>
［ウェブナビゲーター］を クリック

25ページへ進んでください。
（フリーダイヤルによる接続は、上記の画面までです。ウェブナビゲーターでインターネットに接続する場合は、料金が発生します。）

お願い

接続ID、接続パスワード、メールアカウント、メールパスワードなどは忘れないように必ずメモを取って残しておいてください。これらは、電子メールなどで入力する必要があります。

登録内容のファイル保存

Hi-HOに登録された情報は、Cドライブの「My Documents」フォルダーに"hi-ho.txt"というファイル名で保存されます。このファイルを開いて、参照することができます。（開く方法→『セットアップ編』「文書の呼び出し（ファイルを開く）」）

◀「ウェブナビゲーター」では、どのようなホームページがあるのか、幅広いジャンルのホームページを一覧表示してご紹介します。

必ずメモしておいてください

接続ID	
接続パスワード	
メールアカウント*1	
メールパスワード*2	
メールサーバー	
電子メールアドレス	

＊この情報は、「My Documents」フォルダーに"hi-ho.txt"というファイル名で保存されています。

*1 メールアカウントが使えるようになるまで約3時間かかります。
*2 メールパスワードは、電子メール操作時に入力する必要があります（→33ページ）ので特に気をつけてメモしてください。
その他の情報は、インターネットスターターが自動で設定してくれます。

用 語

接続ID ：プロバイダーへの接続時に会員を識別するためのものです。
接続パスワード ：他人が自分の接続IDを使ってプロバイダーに接続するのを防ぐためのパスワードです。
メールアカウント：電子メールをやり取りするときに、利用者を示します。（→11ページ）
メールパスワード：メールサーバー上の電子メールを他人に無断で読み出されるのを防ぐためのパスワードです。
電子メールアドレス：電子メールの宛先（実際はプロバイダーが設置している「メールサーバー」というコンピューターの中の番地）です。

正式な会員証が届いたら

加入後、約10日後に、正式な会員証や説明書などの書類が郵送されます。
加入時にメモした登録情報（→14ページ）と郵送された書類に違いがないか確認してください。
セキュリティーやサーバー管理などの都合により「接続パスワード」などが、変更されていることがあります。そのような場合は、下記を参照して設定を変更してください。

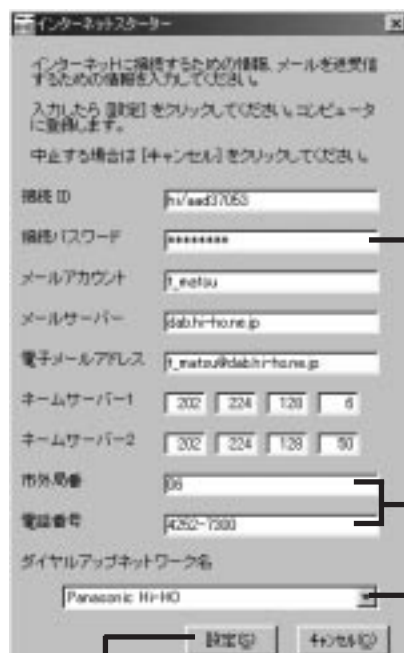
お願い
送付された書類は、大切に保管してください。

設定内容を変更するとき

接続パスワードが変更になったときやコンピューターの再インストール後、通信の設定を再度行いたいときには、「インターネットスターター」を使用して再設定することができます。

1 デスクトップの[インターネットスターター]アイコンをダブルクリックする。

再インストールしたときは
再インストール後、再設定する場合は、まず「ダイヤルアップネットワーク」で新しい接続を作成してから（→16ページ）、接続ID、接続パスワード、メールアカウント、メールサーバー、電子メールアドレスを入力してください（→14ページ）。

2 設定内容を変更する。

① 変更する項目を クリック し、入力し直す。

セキュリティー保護のため、*で表示されます。

アクセスポイント電話番号

「インターネットスターター」によって、自動設定されたダイヤルアップネットワーク名

② 内容の変更が終わったら クリック
この後、メッセージに従って操作してください。

ダイヤルアップネットワーク名
ダイヤルアップネットワークとは、プロバイダーに接続する際のアクセスポイントとアクセスポイントへの接続方法（電話回線の種類、モデムなど）を設定したものです。「インターネットスターター」では、「Panasonic Hi-HO」という名前で自動作成されます。

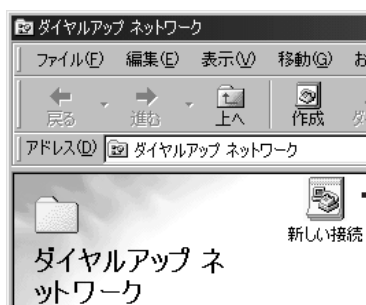
◀ 再インストール後の再設定時には、▼をクリックして、新しく作成したダイヤルアップネットワーク名を選んでください。

新たに接続先を設定するとき

「インターネットスターター」を使用した場合、インターネットをするときの「接続先」は「Panasonic Hi-HO」という名前で自動作成されました。
次のような場合、必要に応じて新しい「接続先」を設定してください。
・再インストールした場合
（「インターネットスターター」を使用した場合、接続先「Panasonic Hi-HO」と同じ設定内容で再設定してください。）
・回線が混雑している場合や複数の方がそれぞれの接続先を使用したい場合など事情に応じて。
以下に接続先の設定方法を説明します。

接続先の使い分け
例えば、Hi-HOの大阪のアクセスポイントが混雑して「話し中」の場合、神戸のアクセスポイントが使えるように、「新しい接続」を作成します。「アクセスポイント」だけでなく、接続方法（LANやISDN回線を使う場合など）によって設定を変えて「新しい接続」を作ることもできます。

1 [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[通信]→[ダイヤルアップネットワーク]をクリックする。

2 新しく接続を作成する。

初めて「新しい接続」を作成するときには、「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。
[次へ]を クリック

❶ 新しく作成する接続先に名称を付ける。

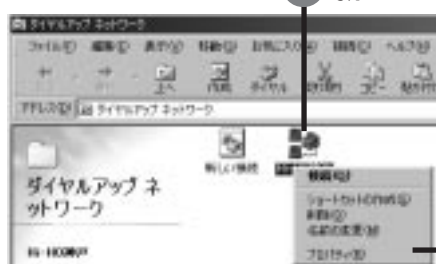
接続名の付け方のコツ
例えば、アクセスポイントで接続先を使い分ける場合、「Hi-HO神戸」「Hi-HO大阪」など、設定の違いがよくわかるように付けます。

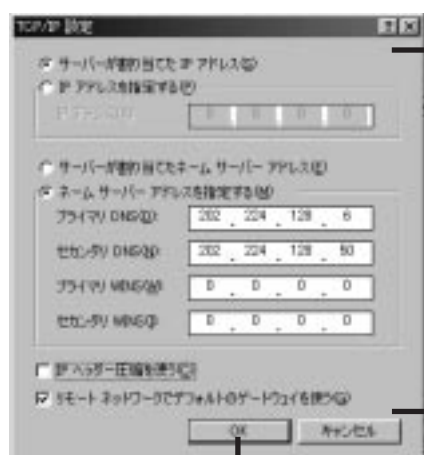
モデムの選択

Panasonic Internal Modem：内蔵のモデムを使用する場合に選ぶ。

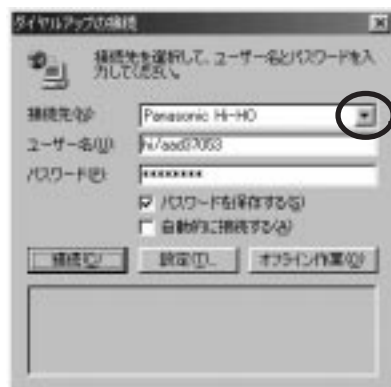
その他、モデムカードを接続したり、ISDN回線に変更した場合など、対応するモデム名を選んでください。

設定した接続名を持つアイコンが追加されます。

3 サーバー情報を設定する。

（次ページに続く）

新たに接続先を設定するとき

4 「サーバーの種類」の設定画面が表示されるので[OK]をクリックする。

＜「新しい接続」を使う場合＞

回線への接続時に表示される下記の画面などで、新しく作った接続先を選びます。（→次ページ）

回線の種類の設定

電話回線の種類を設定し直す必要が生じた場合は、次のようにします。

＜設定のしかた＞

①「コントロールパネル」の[モデム]をダブルクリックする。
②[ダイヤルのプロパティ]をクリックする。
③「ダイヤル方法」で回線の種類を選ぶ。
　トーン：ダイヤル中「ピッポッパ」と音がする回線
　パルス：ダイヤル中「ピッポッパ」と音がしない回線
　・ご使用中の電話回線の種類がわからない場合は、お近くのNTTにお問い合わせください。

＜留意点＞

「ダイヤルのプロパティ」の設定は、すべての接続先（モデム）に対して共通です。
「ダイヤル方法」が使用環境により異なる場合は、その都度、変更する必要があります。

インターネットに接続する（インターネットエクスプローラ）

電話回線に接続し、プロバイダーへの加入と通信の設定（→10〜14ページ）が終わったら、「Internet Explorer」を使ってインターネットに接続してみましょう。

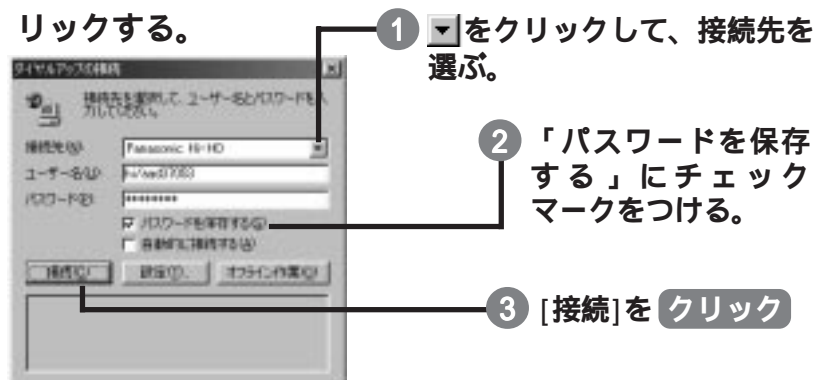
◀「Internet Explorer」は、ホームページを見るためのソフトウェア（ブラウザー）の一つです。

「Internet Explorer」を起動する

1 デスクトップの[Internet Explorer]アイコンをダブルクリックする。

❶ ▼をクリックして、接続先を選ぶ。

❷「パスワードを保存する」にチェックマークをつける。

❸ [接続]を クリック

プロバイダーへの接続が始まります。接続が完了すると、「Microsoft Network」のスタートページが表示されます。

接続先
自分で新しく設定した接続先がある場合、選ぶことができます。その接続を初めて使用する場合は、ユーザー名とパスワードに何も表示されませんので、自分で入力してください。パスワードはセキュリティー保護のため「*」で表示されます。（ダイヤルアップ接続の作成方法→16ページ）

◀左記は、「インターネットスターター」により自動作成された「Panasonic Hi-HO」を使用する場合を例にしています。必ず「パスワードを保存する」にチェックマークを付けておいてください。

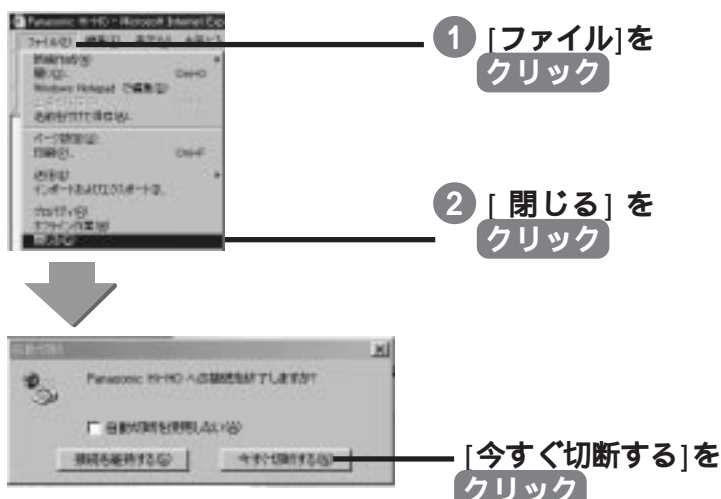
◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

「Internet Explorer」を終了する

次のようにして、確実に接続を切断します。

❶ [ファイル]を クリック

❷ [閉じる]を クリック

[今すぐ切断する]を クリック

◀接続終了の確認
接続を終了すると、画面右下のタスクバーにある次のアイコンの表示が消えます。 （接続時）

◀ウィンドウ右上の☒をクリックしても終了することができます。

◀この画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「自動切断」をクリックしてください。

インターネットに接続する（インターネットエクスプローラ）

Hi-HOのホームページを使って、ホームページを思い通りに見られるように基本操作を覚えましょう。

雑誌で見つけたホームページを見る

雑誌やカタログ、あちこちで目にする「http://」で始まるURL（ホームページの番地）を入力すると、見たいページをすぐに表示することができます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→前ページ）

2 URLを入力する。

Hi-HOのURLは、「http://home.hi-ho.ne.jp」です。

① アドレスの欄を クリック

② Back space を押して、不要な文字を消す。

① URLを入力する。

② Enter を押す。

しばらくすると、指定したホームページが表示されます。

◀必ず半角の英数字で入力します。半角の英数字にならないときは Alt ＋ 半角/全角 を押して、英数字入力モードに切り換えます。

◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

◀Internet Explorer を終了するには→前ページ

表示が極度に遅いときには

画像の多いホームページを表示している、メモリーが不足している、または接続しようとした時間帯やホームページが非常に混雑しているなどが考えられます。

ＵＲＬによく使われている記号

- チルダー（~）は Shift ＋ [¯ へ ^ ヘ]
- スラッシュ（/）は [? ・ / め]、ピリオド（．）は [> 。 . る]、コロン（:）は [* ケ : け]
- アンダーバー（_）は Shift ＋ [_ ろ ＼ ろ]

用語

URL　：インターネット上でホームページなどデータの場所を示す番地のようなものです。

ホームページの見かた

現在開いているホームページの番地（URL）が表示されています。

スクロールバー

[戻る]をクリック
一つ前のページに戻ることができます。

ポインターが矢印から手の形になる所をクリック
その先のページ(リンク先)を表示できます。

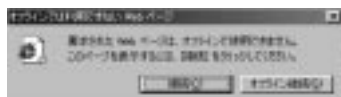
◀画面を最大にする
をクリックすると、Internet Explorerのウィンドウを最大にすることができます。（→『セットアップ編』）

◀スクロールバーをドラッグ、または をクリックすると、下または上に続いているページ内容を見ることができます。

◀戻る と 進む
左のようにして、いくつかのページを開いたときに、簡単に前に戻ったり、次に進んだりすることができます。いろいろなページを開いてみましょう。

◀Internet Explorer を終了するには（→19ページ）

オフライン(回線断)の状態でホームページの内容を読む

ホームページをじっくり見るときは、[ファイル]→[オフライン作業]をクリックする（ウィンドウ上部に「オフライン作業」と表示される）と、回線を切断した状態で[Internet Explorer]を表示することができます。（料金を節約することができます。）別のホームページに進もうとすると、下記のメッセージが表示されますので、[接続]をクリックします。

そのほかの便利な機能

ホーム：Internet Explorer起動時に最初に表示されるホームページに戻ります。（→23ページ）

検索：キーワード（言葉）をもとに、見たいホームページを表示します。（→次ページ）

お気に入り：よく見るホームページを登録し、すぐに表示することができます。（→24ページ）

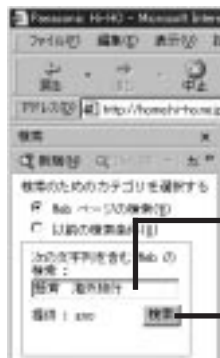
履歴：表示したホームページのURLの履歴を見ることができます。

インターネットに接続する（インターネットエクスプローラ）

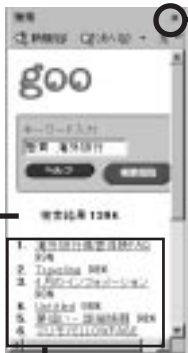
見たいページを探す

「こんなホームページが見たいな」という場合、キーワードを入力して、ホームページを探すことができます。
たとえば、「海外旅行の懸賞に応募したい」ときは「懸賞」「海外旅行」などをキーワードとして探せます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→19ページ）

[検索]を クリック

❶ キーワードを入力する。

❷ [検索]を クリック

検索条件に合致したホームページの件数が表示されます。

☒をクリックすると、検索を終了することができます。

検索結果が表示されるので、いずれかのホームページタイトルを クリック

2 インターネットへの接続を終わる。（→19ページ）

◀「どんなホームページがあるのかな」という場合には、「ウェブナビゲーター」が便利です。（→25ページ）

◀ Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。

キーワード入力のコツ

検索されたページが多すぎて探しにくい場合は複数のキーワードを入力します。各キーワードをスペースや”｜”（半角）で区切るのが一般的です。

◀インターネットに情報を送信する場合、いくつか、警告のメッセージが表示される場合があります。確認後、[はい] をクリックします。

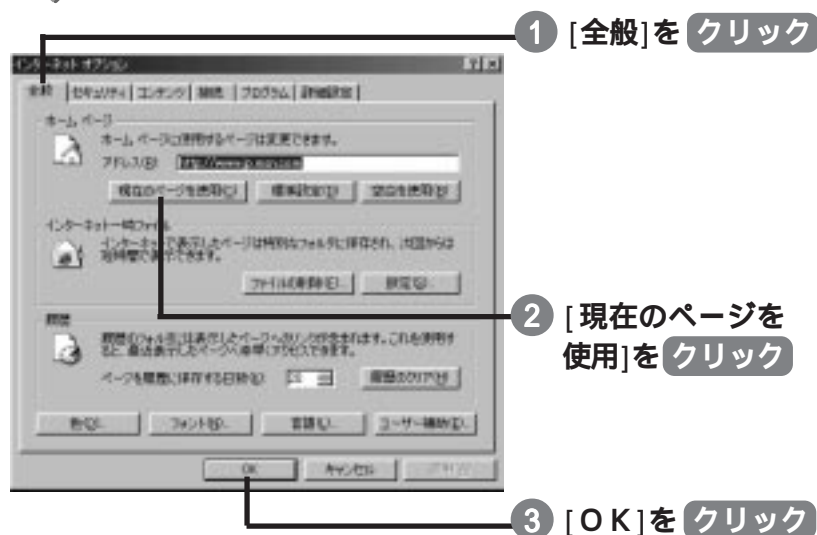
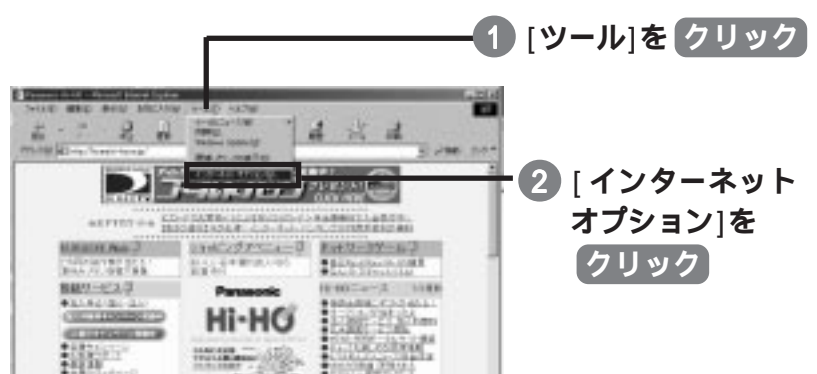
◀[戻る]をクリックすると、検索を始める前の画面に戻ることができます。

最初に表示するページを設定する

Internet Explorerを起動したときに最初に表示されるホームページを好みのものに変更することができます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→19ページ）

2 最初に表示したいホームページを画面に表示する。

3 設定する。

これで、次にInternet Explorerを起動したときや ホーム をクリックしたときには、ここで設定したホームページが表示されます。

4 インターネットへの接続を終わる。（→19ページ）

インターネットに接続する（インターネットエクスプローラ）

気に入ったページを登録する

よく利用するホームページは、「お気に入り」に登録しましょう。「お気に入り」に登録しておくと、「URL」を入力することなくメニューから選ぶだけで簡単に表示できます。

1 「Internet Explorer」を起動する。（→19ページ）

2 お気に入りに登録したいホームページを表示させる。

3 登録する。

① [お気に入り]を クリック

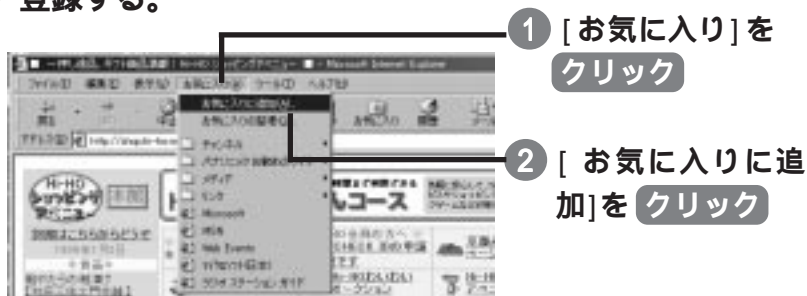
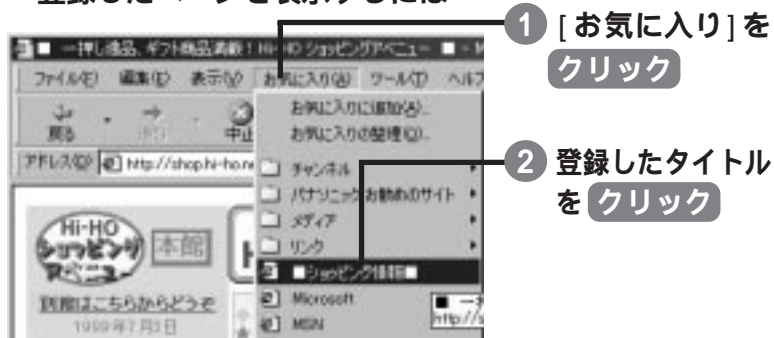
② [お気に入りに追加]を クリック

① タイトルを入力、確定する。

② [ＯＫ]を クリック

＜登録したページを表示するには＞

① [お気に入り]を クリック

② 登録したタイトルを クリック

4 インターネットへの接続を終わる。（→19ページ）

◀名前の欄をクリックすると、文字を入力できるようになります。

◀「お気に入り」のメニューから削除したいときは
手順3で[お気に入りの整理]をクリックすると、登録されているホームページのタイトルが一覧表示されます。削除したいタイトル名をクリックして、[削除]→[はい]→[閉じる]をクリックします。

◀「お気に入り」には、あらかじめいくつかのホームページが登録されています。それらのホームページを削除することはできません。

ホームページを幅広く閲覧する（ウェブナビゲーター）

ウェブナビゲーターを使用する前に

ウェブナビゲーターを使用するには、以下の準備が必要です。

- 電話回線に接続してプロバイダーに加入し、通信の設定をしてください。（→10〜14ページ）。
- 画面のプロパティで、画面の領域を1024×768ピクセル、色をHigh Color（16ビット)以上、詳細設定を「小さいフォント」に設定してください。

◀工場出荷時は、1024×768ピクセル、True Color（24ビット）、「小さいフォント」に設定されています。（→『活用編（本体）』「画面についての設定」）

ウェブナビゲーターの楽しみかた

<まずは、ネットサーフィン>

どんなホームページがあるの、
どうしたらもっとホームページを楽しめるの？というときに。

ウェブナビゲーターを起動してホームページ情報を取得します。取得後は、オフラインになるので料金がかかりません*。いろいろなホームページを見てみましょう。
（→下記〜27ページ）

ジャンル別に６分割画面で表示されるので、いろいろなページが一目でわかります。

実際にはそれぞれのジャンルのホームページが表示されます。

<さらに使い込む>

好みや趣味に合ったホームページをどうやって探そう？というときや気に入ったホームページを集めたいというときに。

- ６つの画面の中には、「おまかせ」の画面があります。「おまかせ」の画面には、年齢、性別やどのようなホームページをよく見ているかの記録から、コンピューターがあなたに合ったホームページを抽出して紹介します。
- 「Internet Explorer」（→19ページ）の「アドレス」や「お気に入り」、「スタート」メニューの「お気に入り」から上記の画面にドラッグ＆ドロップするだけで、お気に入りのホームページをウェブナビゲーターに集めることができます。（→29ページ）

<ホームページの更新>

必要に応じて簡単にホームページの情報を更新できます（→30ページ）。また、ホームページリスト（URL集）も更新できますので、最新の情報を入手することができます（→31ページ）。

ホームページ取得とは

- 本機にはあらかじめたくさんの厳選されたホームページリスト（ＵＲＬ集）が登録されています。（ホームページリストは更新できます。→下記）
- ホームページリストをもとにインターネットに接続し、最大24個（工場出荷時は18個）のホームページ情報を自動で取得します。

◀登録されているURLが提供者側で休止、終了された場合、そのホームページの内容を取得・表示できなくなることがあります。

*リンク先のホームページを表示する場合、インターネットに接続するため、料金がかかります。また、オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

用語

URL　：インターネット上でホームページなどのデータの場所を示す番地のようなものです。

インターネット　ホームページ

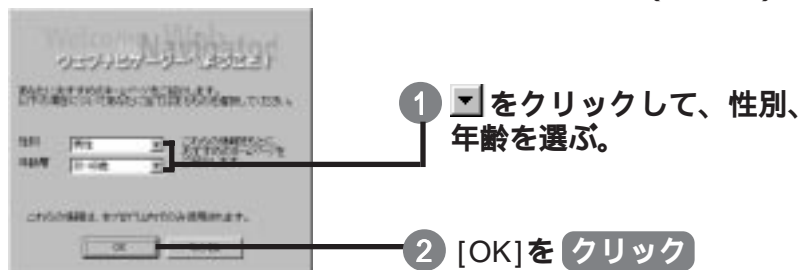
ホームページを幅広く閲覧する（ウェブナビゲーター）

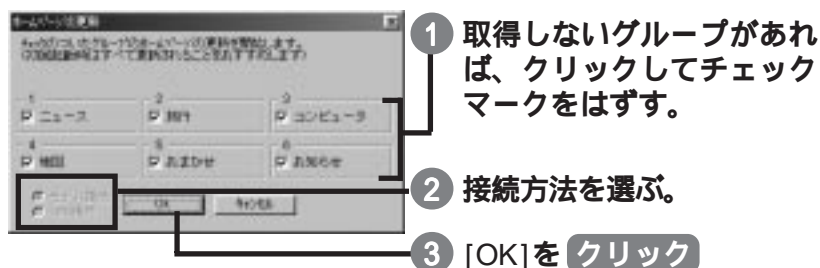
ウェブナビゲーターを起動する

インターネットスターター（14ページの画面）に続けて操作する場合は、手順*2* から操作してください。デスクトップから操作する場合は手順*1* から操作してください。

1 [ウェブナビゲーター]アイコンをダブルクリックする。

<インターネットスターターを使って通信設定を行った場合（初回のみ）>
「ウェブナビゲーターへようこそ」画面で[OK]をクリックします。

<インターネットスターターを使わずに通信設定を行った場合（初回のみ）>

この後、画面の指示に従って[OK]をクリックする。

2 ホームページの情報を取得する（初回のみ）。

「ダイヤル中」の画面が表示された後、画面右側の「ホームページの更新」画面に取得中のホームページが表示されます。１つ取得するごとに、６分割された画面にはめ込まれていきます。

2回目以降は、前回に取得した情報をもとにして、すぐにウェブナビゲーターの画面が表示されます。

3 更新終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

<ウェブナビゲーターを終了する場合>
ホームページの更新中は、終了できません。

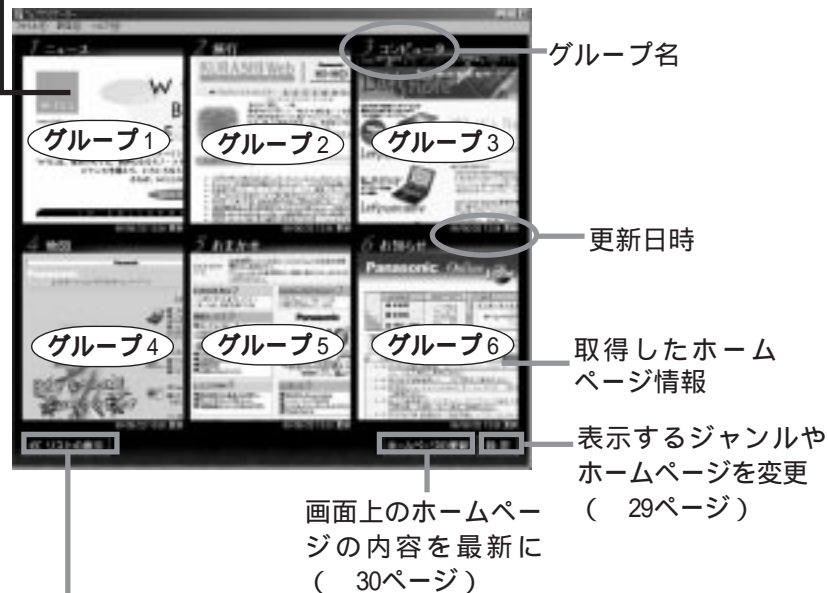
・ウィンドウ右上の をクリックしても、終了することができます。

接続方法の設定（手順2）
内蔵モデムを使用している場合は変更の必要がありません。
接続は、Internet Explorerの[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]で設定されている接続方法に従って行われます。
- 「ダイヤルしない」の場合は、LANの設定に基づいてLAN接続されます。手順*2*の画面では接続方法を選択できません。
- 「ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする」の場合は、手順*2*で「モデム接続」か「LAN接続」かを選んでください。
- 「通常の接続でダイヤルする」の場合は、デフォルト（標準）として選ばれている接続先に内蔵モデムを使って接続します。手順*2*の画面では接続方法を選択できません。

◀ ６つのグループをすべて取得するかどうかを選ぶことができます。
＊表示されているグループ名は、登録されている年齢、性別などにより異なります。

◀ ホームページの取得にはインターネットへ接続するため、接続料金、電話料金がかかります。（オンライン）
接続時間は自分で設定することができます。（工場出荷時は最長約14分間接続します。→31ページ）

お願い
- ホームページ取得中、「ホームページの更新」画面に対して操作をしないでください（スクロールバーを動かす、画像の上に別ウィンドウを表示させる、マウスでクリックするなど）。取得後、ホームページを正しく表示できなかったり、正しく動作しなくなることがあります。
- 回線の状況などにより、１つのホームページを１分以内に取得できない場合、そのホームページは表示されません。
- 認証、Javaアプレットのロードなどにより、取得できないホームページや、Javaアプレットやスクリプトなどによって表示内容が自動的に変化するようなホームページは表示されません。

ウェブナビゲーターの画面を見る

クリック

画面上のホームページのリスト（タイトルのみ）を表示します。

リスト

リストの表示をやめるには：［リストを隠す］を クリック

◀ここからは、インターネットに接続していませんので、電話料金、接続料金はかかりません。（オフライン）

お願い

オンライン状態からホームページの更新を行った場合などは、取得後もオンライン状態が続きます。その場合は接続を切断し、オフライン状態にしてから閲覧するようにしてください。

◀１つのグループに、ホームページが３種類ずつ、一定間隔で順番に表示されます。（工場出荷時は約１秒間隔に設定されています。→31ページ）

◀ホームページの内容は随時、変更されています。左記の画面は一例で、実際の内容と異なる場合があります。

◀画面に表示されるのは、全ホームページリスト（URL集）のうち、の一部です（ホームページ情報を取得したもののみ）。

◀リスト上のタイトルをクリックまたはダブルクリックすると、「Internet Explorer」が起動し、そのホームページを表示します。

６つのグループについて

＜おまかせ＞

登録した性別、年齢やどのようなホームページをよく見ているかの記録などをもとに、コンピューターがあなたにあったホームページを提案します。「おまかせモード」ともいいます。

＜お知らせ＞

当社の製品情報などをお知らせするホームページを表示します。「お知らせモード」ともいいます。

＜その他＞

グループ名が「おまかせ」「お知らせ」以外のグループでは、グループ名や表示するホームページを変更できます。「設定モード」ともいいます。

- グループ１～３は「設定モード」以外のモードに変更できません。
- グループ４～６は「おまかせモード」、「お知らせモード」、「設定モード」のいずれかに変更することができます。

幅広くホームページを閲覧する（ウェブナビゲーター）

「Internet Explorer」で詳しく見る

お好みのホームページが表示されたら：
そのホームページ上を ダブルクリック

をクリックすると、「Internet Explorer」を終了します。

矢印が の形に変わった所をクリックすると、その項目に関連する（リンク先の）ページが表示されます。

・画面取得後に、実際のホームページが変更になり、指定したリンク先がない場合があります。その場合は、メッセージが表示されます。必要に応じて、ホームページの更新を行ってください。（→30ページ）
・「データ更新中」と表示されることがあります。これは、どのようなホームページをよく見ているかの情報を集め、次回の「おまかせ」に生かすためです。

◀「Internet Explorer」（ホームページを見るためのソフト）が起動し、その内容が開きます（通常、オフライン）。ホームページによってはインターネットへの接続が必要な場合があります。その場合、接続するかどうかを確認するメッセージが表示されます。また、Internet Explorerなどがすでに起動されていてオンライン状態の場合は、オンライン状態で開きます。

◀リンク先のページを表示する場合、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。（オンライン）
インターネットへ接続する際には、電話回線の接続と切断を確認してください。（→10、19ページ）

◀Internet Explorerの使いかたについて詳しくは→19ページ

「おまかせ」「お知らせ」のホームページを残しておく

「おまかせ」「お知らせ」では、更新のたびに違ったホームページを取得し、表示します（ほかのグループでは同一のホームページを更新するのみ）。「おまかせ」「お知らせ」のホームページが気に入った場合、そのホームページをドラッグ＆ドロップするだけで、ほかのグループに移動し、残しておくことができます。

❶ 移動したいページが表示されたときに矢印をあわせ、マウスの左ボタンを押す。

❷ 左ボタンを押したまま、移動先のグループ上へドラッグし、左ボタンを離す。
（ドラッグ＆ドロップ）

◀「おまかせ」または「お知らせ」への移動はできません。（「おまかせ」、「お知らせ」からほかのグループへの移動はできます。）

◀一つのグループに登録できるホームページは４つまでです。必要に応じて、ホームページを削除してから登録してください。（→下記）

登録されているホームページを削除する
目的のホームページが表示されたときにマウスの右ボタンをクリックし、[削除]を選択します。削除すると、次回の更新時から表示されなくなります。

お気に入りのホームページを集める

「Internet Explorer」のアドレス欄やお気に入りに登録したホームページから、また「スタート」メニューの「お気に入り」からドラッグ＆ドロップするだけで、お気に入りのホームページをウェブナビゲーターに集めることができます。

❶ 登録したいURLを、目的のグループにドラッグ＆ドロップする。

＜Internet Explorerのアドレス欄からの場合＞

❷ メッセージを確認して、[OK]を クリック

❸ ホームページ情報の更新をする（→30ページ）。

◀「おまかせ」または「お知らせ」へ登録することはできません。

◀一つのグループに登録できるホームページは４つまでです。必要に応じて、ホームページを削除してから登録してください。（→下記）

登録されているホームページを削除する
目的のホームページが表示されたときにマウスの右ボタンをクリックし、[削除]を選択します。削除すると、次回の更新時から表示されなくなります。

表示するジャンルやホームページを変更する（設定）

画面に表示するジャンルやホームページを、約50ジャンル、約160種類のホームページから選んで、変更することができます。

1 設定 ―― クリック

❶ 変更するグループの○を クリック

❷ 必要に応じて、変更する。
（→次ページ）

変更した設定を元に戻すことができます。

❸ クリック

◀ウィンドウ左上の[設定]→[ホームページの設定]を順にクリックしても、左記の画面を表示することができます。

グループ名
「モード選択」でおまかせモードやお知らせモードから設定モードに変更した場合は、「新しいグループ」と表示されます。好きな名称に変更してください。（空白にすると、設定を保存できません）。

モード選択
「グループ」で4～6を選んだ場合のみ、設定モード、おまかせモード、お知らせモードの3つのモードから選択できます。ただし、お知らせモードに設定できるのは１つのグループのみです。（グループ1～3の場合は、設定モードにしかできません。）

ホームページを幅広く閲覧する（ウェブナビゲーター）

インターネット

ホームページ

ジャンルの選択について

●「モード選択」が「設定モード」の場合

＜自動設定＞

①前ページの手順*1*の画面で、[ジャンル選択]をクリックする。

②ここをクリックして、ジャンルを選ぶ。

③ここをクリックして、自動で選択するホームページの数を選ぶ。

④クリックする。

＜詳細設定＞

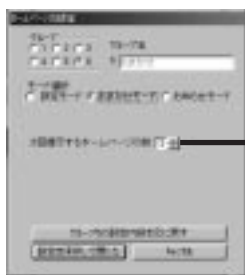
①上記画面で、[詳細設定]をクリックする。

②ここをクリックして、ジャンルを選ぶ。

③目的のホームページにチェックマークを付ける。

④クリックする。

自動設定画面（→上記）に戻ります。

●「モード選択」が「おまかせモード」または「お知らせモード」の場合

表示するホームページの数を選びます。

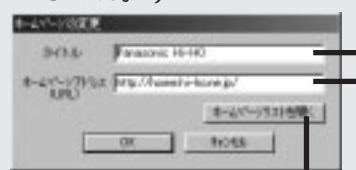
2 ジャンルなどを変更したグループのホームページ情報を更新する（→下記）。

◀選択中のグループのジャンルを変えることができます。

自動設定
選んだジャンルのホームページをコンピューターに自動的に選択させる場合に、その数を設定します。

詳細設定
自分でホームページを選択したい場合は、「詳細設定」を選択します。１～４個までお好みのホームページを選択できます。

ホームページの変更と追加
前ページ手順*1*の画面で[変更]または[追加]をクリックすると次の画面が表示されます。

タイトルやURLを変更できます。（空白のままでは設定を終了できません。）

ここをクリックすると、あらかじめ登録されているホームページリストの中から選ぶことができます。

ホームページの更新

インターネットに接続し、画面上のホームページ情報を更新することができます。本ソフトの２回目以降の起動時に、必要に応じて更新してください。（URLがホームページの提供者側で休止、終了された場合、そのホームページを取得できなくなる場合があります。）

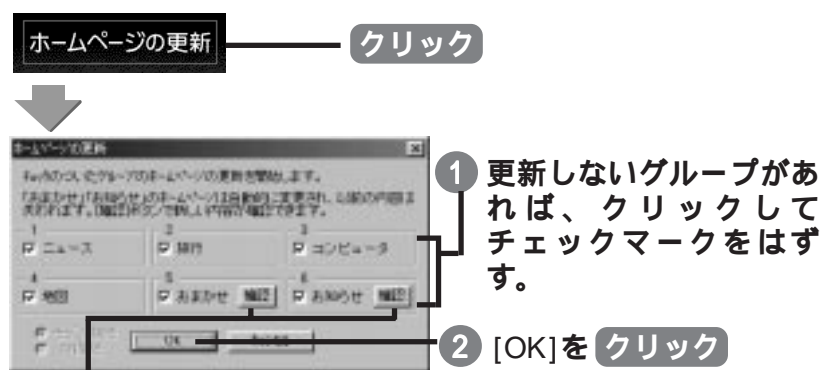
以下のような場合には、エラーメッセージが表示されます。必要に応じてホームページの更新を行ってください。

- ホームページが変更になり、リンク先に接続できない場合
- 「Internet Explorer」の[ツール]→[インターネットオプション]で「ファイルの削除」を実行した場合※

◀ホームページの更新は、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。
インターネットへ接続する際には、電話回線の接続を確認してください。（→10ページ）

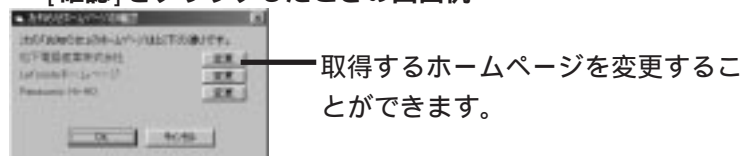
※取得したホームページは特別なフォルダーにファイルとして一時的に蓄えられます。これらのファイルを消すとウェブナビゲーターでホームページ情報を見れなくなります。

ホームページの更新 — クリック

❶ 更新しないグループがあれば、クリックしてチェックマークをはずす。

❷ [OK]を クリック

２回目以降の更新時、[確認]ボタンが表示されます。クリックすると、コンピューターが「おまかせ」「お知らせ」で新たに取得するホームページを確認できます。

<[確認]をクリックしたときの画面例>

取得するホームページを変更することができます。

❸ 更新完了のメッセージが表示されたら[OK]を クリック

更新について

制限時間内（工場出荷時最長約14分*、１つのホームページあたり最長約１分以内）にすべて更新できなかった場合でも、途中までのデータは蓄えられます。そのため、２回目以降は同じページを速く更新できます。

*下記の詳細設定で接続時間の制限（時間制限）を変更できます。

◀更新中､スクリーンセーバーは起動しません。

◀更新すると、「おまかせ」「お知らせ」のホームページは変更され、以前の内容は失われます。現状のホームページを残しておきたい場合、そのホームページをほかのグループに移しておいてください。（→28ページ）

表示スピードや更新時の条件を変更する（詳細設定）

画面上でホームページが切り換わる速さを変えたり、ホームページ更新時のさまざまな条件を変更できます。また、最新のホームページリスト（URL集）に更新できます。

❶ 「設定」を クリック

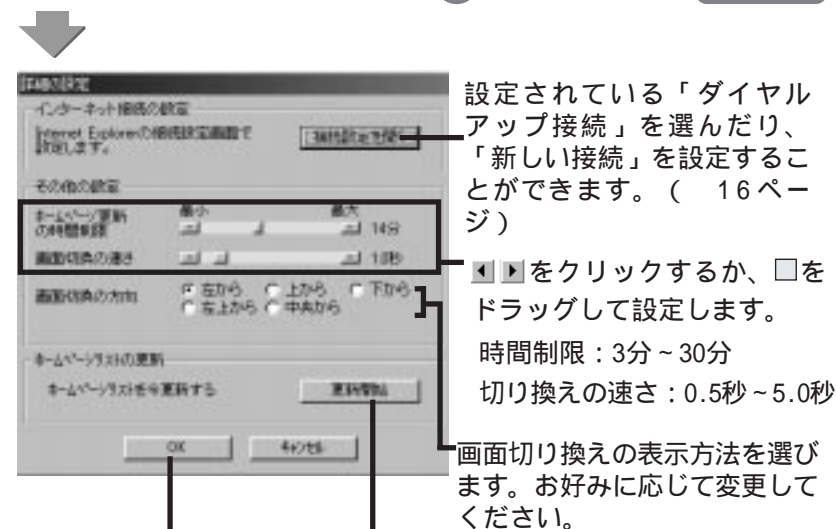
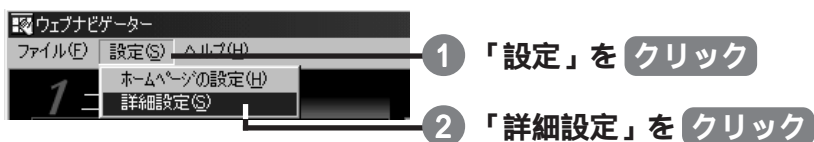
❷ 「詳細設定」を クリック

設定されている「ダイヤルアップ接続」を選んだり、「新しい接続」を設定することができます。（→16ページ）

◀▶をクリックするか、□をドラッグして設定します。

時間制限：3分～30分

切り換えの速さ：0.5秒～5.0秒

画面切り換えの表示方法を選びます。お好みに応じて変更してください。

インターネットに接続して、Hi-HOのホームページから最新のホームページリスト（URL集）を取得します。画面の指示に従って操作してください。

クリック

お願い

省電力機能の「モニタの電源を切る」は、「なし」または接続時間よりも長い時間に設定しておいてください。更新中にモニタ（ディスプレイ）の電源が切れた場合、６分割画面でのホームページの表示が正しく行われません。

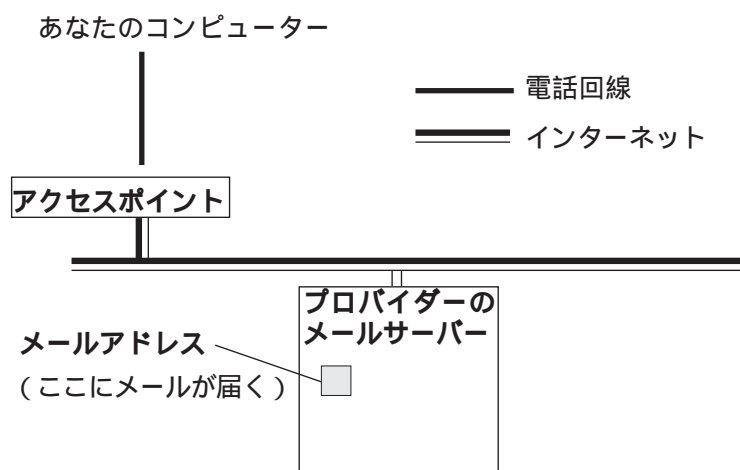
◀接続設定が正しくないと、ホームページを更新できません（→26ページ）。「Internet Explorer」などを使って、この設定でインターネットに接続できること確認した後、ウェブナビゲーターを起動してください。

◀ホームページのデータ量や更新時の回線の状態によっては、すべてのホームページを更新するために、インターネットへ接続する時間を延長する必要がある場合があります。

◀ホームページリストの更新は、インターネットに接続しますので、電話料金、接続料金がかかります。

URL集は、データ料金なしで取得できます。

電子メールについて

ネットワークを通してやり取りする電子の手紙です。はがきなどの郵便と違い、住所の代わりに、「メールアドレス」を入力して送ります。メールアドレスは、プロバイダーのコンピューター（メールサーバー）の中でメールが届く番地を示しています。

メールは、メールアドレスに届くと、一定期間保管されます。届いたメールは、メールソフトで「受信」操作を行って、自分のコンピューターに取り込みます。（自分のコンピューターに取り込まないと、メールを読むことはできません。）

メールに必要な準備

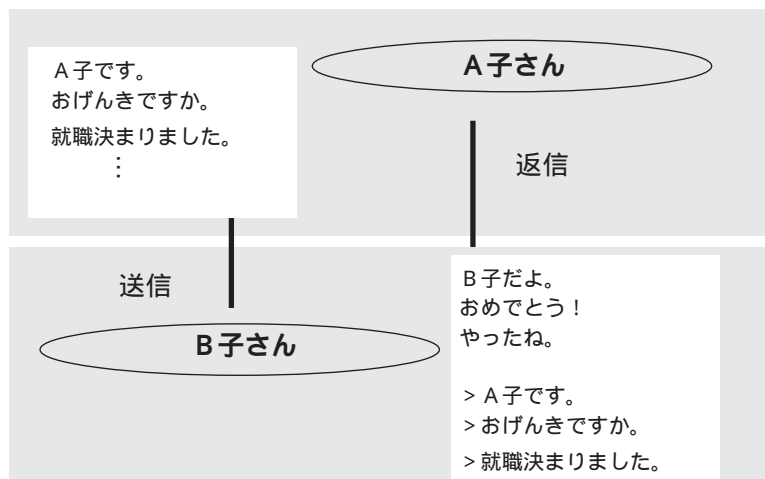
- 電話回線への接続
  （→10ページ）
- プロバイダーへの加入*
  （メールアドレスなどの取得）
- 通信のための各種接続設定*
- メールソフトの確認
  （本機は「Outlook Express」）

*「インターネットスターター」が便利です。→11ページ

メールの受信に便利な機能

本機にはプロバイダーのメールサーバーに自分宛のメールが届いているかをチェックして知らせてくれる「メール着信お知らせ機能」、ワンタッチでメールの送受信ができる「メールボタン」が用意されています。
使用のための設定方法や使用方法は→40〜43ページ

電子メールはこんなに便利

- 深夜でも、相手の留守中でも、送りたいときにメールを送れます。
- 相手が近距離でも、海外でもかかる費用が同じです。（アクセスポイントまでの電話料金と接続料金）
- 相手に返事を書くのが簡単です。送信された内容を使って返事が書けます。

電子メールを送信する

プロバイダーに加入し、通信の設定が終わったら（→10〜14ページ）、メールソフトの「Outlook™ Express 5（アウトルックエクスプレス5）」を使って、メールを送ってみましょう。

1 デスクトップの「Outlook Express」アイコンをダブルクリックする。

❶ 変更する場合は、▼をクリックし、接続先を選ぶ。

(→右記)

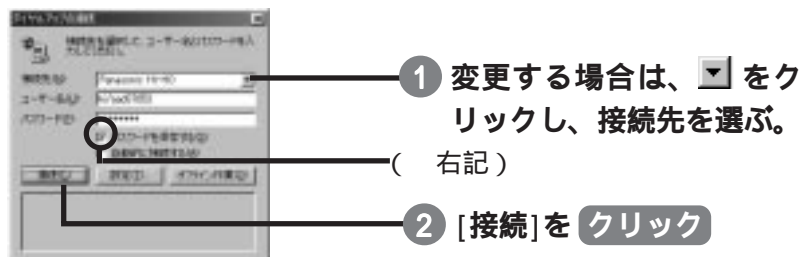
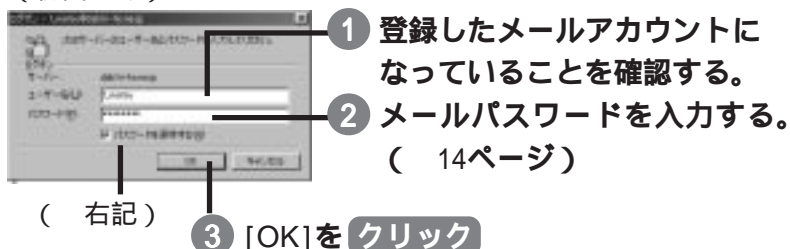
❷ [接続]を クリック

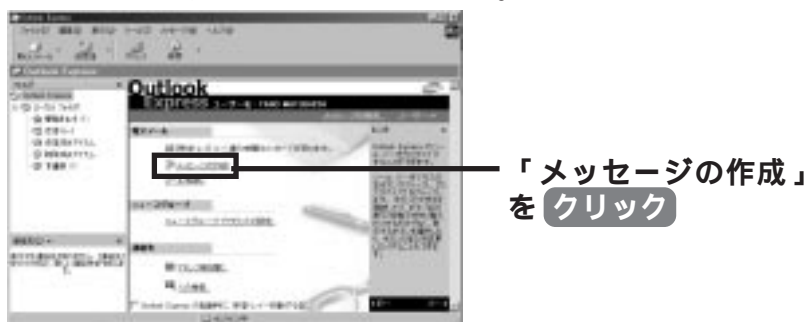
（初回のみ）

❶ 登録したメールアカウントになっていることを確認する。

❷ メールパスワードを入力する。（→14ページ）

(→右記)

❸ [OK]を クリック

2 メールを作成する画面を表示する。

「メッセージの作成」を クリック

◀ メールボタンを使って、自動でメールを送受信することもできます。（→42ページ）

◀ 自分で新しく設定したダイヤルアップ接続を選ぶこともできます。その接続を初めて使用する場合には、ユーザー名とパスワードに何も表示されませんので、自分で入力してください。パスワードはセキュリティー保護のため「*」で表示されます。
（ダイヤルアップ接続の作成方法→16ページ）

◀ 左記は、「インターネットスターター」により自動作成された「Panasonic Hi-HO」を使用する場合を例にしています。

パスワードを保存する
この項目をクリックして、チェックマークを付けておくと、次回からパスワードの入力が不要です。

オフライン(回線断)の状態で作業をするには

手順*1*の「ダイヤルアップの接続」画面で[オフライン作業]を選ぶと、回線を切断した状態で「Outlook Express」を表示し、料金を気にせずにゆっくりとメールを作成できます。
（[接続]を選ぶと、回線に接続するため、電話料金、接続料金がかかります。）
[オフライン作業]を選択後にエラー画面が表示されたら、[表示しない]をクリックしてください。

・メールを作成後は、[送信]をクリックします。
作成したメールがいったん「送信トレイ（→35ページ）」に格納され、受信メール一覧画面（→35ページ）または初期画面（上記手順*2*）に戻ります。
この後、[送受信]をクリックし、メッセージに従って回線に接続し、送信してください。
（上記手順*1*も参考にしてください。）

メールアドレスに使われる記号

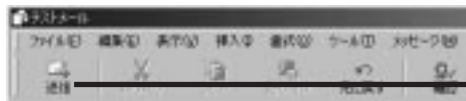
・アットマーク（@）は [@ ¢]、ピリオド（．）は [. る]、ハイフン（-）は [- ほ]
・アンダーバー（_）、チルダー（~）については、20ページをご覧ください。

電子メールを送信する

3 「宛先」「件名」「本文」を入力する。

最初は試しに自分宛にメールを送ってみましょう。

❶ メールアドレスを半角の英数字で入力する。
❷ 件名（タイトル）を入力する。

❸ 本文を入力する。

◀ Alt ＋ 半角/全角 を押すと、英数字を入力できるようになります。
（文字の入力→『セットアップ編』）

◀ 電子メールには、半角のカタカナや丸付き数字の（①②）などの特殊文字は使わないでください。相手先で読めなくなる場合があります。

◀ カーソル(I)が表示されていない場合、目的の項目にポインター(I)をあわせてクリックすると、表示されます。

4 送信する。

[送信]を クリック

メールが送信されます。

◀ 送信と同時にメッセージの作成画面を終了し、「Outlook Express」の初期画面に戻ります。

送信トレイにメールを入れるには
[送信]ボタンをクリックするかわりに、[ファイル]→[後で送信する]をクリックしてください。

[送信トレイ]の中のメールの送信
[送受信]ボタンをクリックすると送信されます。
また、Outlook Express終了時に[送信トレイ]にメールが残っている場合は、送信するかどうかの確認メッセージが表示されます。

接続終了の確認
接続を終了すると、画面右下のタスクバーにある次のアイコンの表示が消えます。

（接続時）

＜「Outlook Express」を終わる場合には＞

☒を クリック

[今すぐ切断する]を クリック

◀ この画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「自動切断」をクリックしてください。

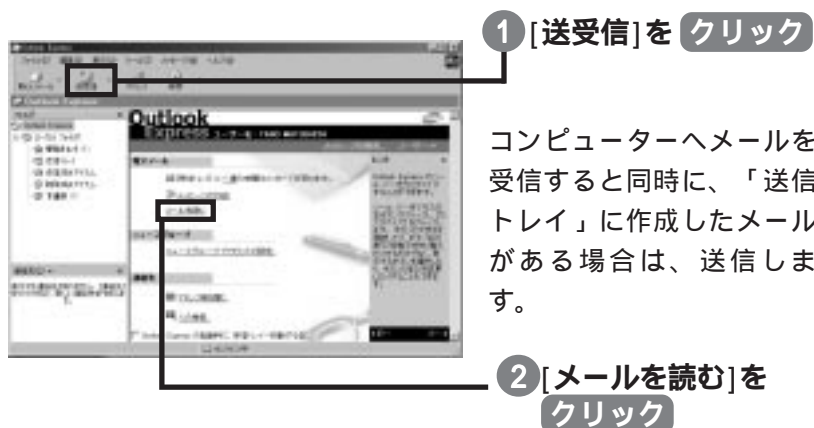
電子メールを受信する

自分宛にメールが届いているかどうかは、プロバイダーに接続して確かめます。ここでは、自分のコンピューターにメールを受信し、受信したメールを見る方法を説明します。

1 「Outlook Express」を起動する。（→33ページ）

① [送受信]を クリック

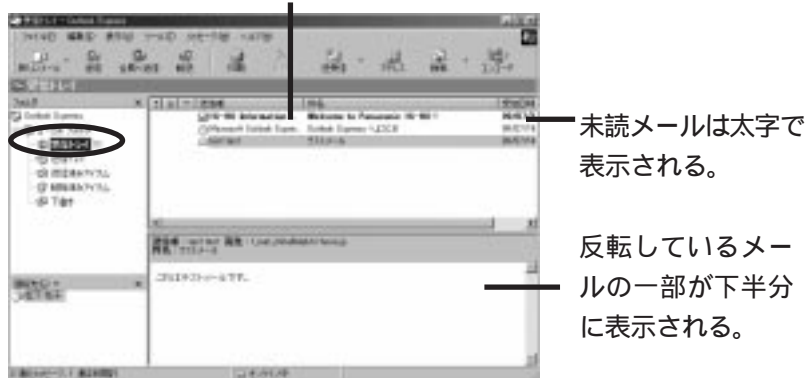
コンピューターへメールを受信すると同時に、「送信トレイ」に作成したメールがある場合は、送信します。

② [メールを読む]を クリック

2 受け取ったメールを読む。

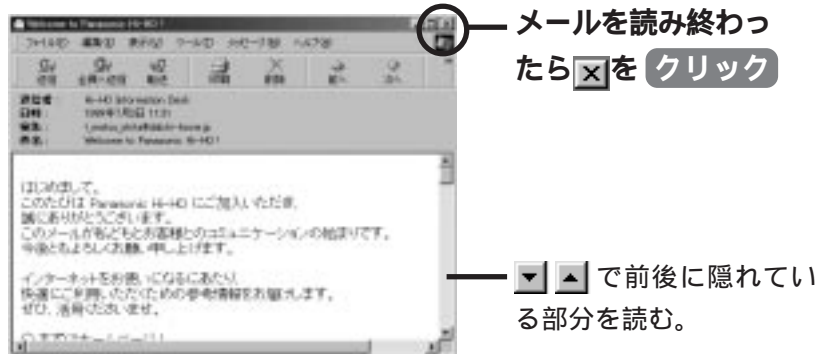
<受信メール一覧画面>

目的のメールの件名を ダブルクリック

未読メールは太字で表示される。

反転しているメールの一部が下半分に表示される。

（上記の「Hi-HO Information …」をダブルクリックした例）

メールを読み終わったら☒を クリック

▼ ▲ で前後に隠れている部分を読む。

メールの着信をチェックする

メール着信お知らせ機能が便利です。（→40ページ）

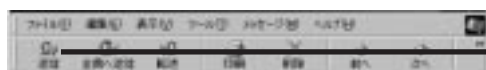
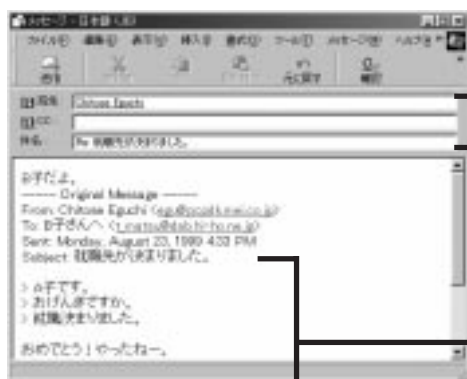
◀ 表示するトレイ（→下記）を変更する場合、目的のトレイをクリックしてください。

トレイの種類

- 受信トレイ
  受信したメールが保管されます。（左記画面）
- 送信トレイ
  送信したメールを一時的に保管する場所です。複数個のメールが送信トレイにたまったら[送受信]をクリックして、まとめてメールを送信できます。
  （送信トレイにメールを入れるには→前ページ。
  常に送信トレイにメールを入れるように設定するには、[ツール]→[オプション]→[送信]設定で、「メッセージを直ちに送信する」のチェックマークを外しておきます。）
- 送信済みアイテム
  送信したメールが保管されます。
- 削除済みアイテム
  削除したメールが一時保管されます（→次ページ）。

受け取った電子メールに返事を出す

差出人の宛先や本文を引用して、直接返事が書けるので便利です。

1 メールを受信し、読む（→前ページ、手順*1*、*2*）。

2 返事を書く。

3 送信する。

このあとの操作は、「メールを送信する」（→34ページ）の手順 *4* をご覧ください。

転送について
受け取ったメールを他の人に送るときは「転送」を選びます。「転送」のときは件名の先頭に「FW：」が追加されます。

◀ 件名の先頭につけられた「RE：」は「Regarding」を表しています。

◀ 必要に応じて、文章を削除したり、文章の間にコメントしたりすることができます。

受け取ったメールを削除するには

「受信メール一覧」の中で削除したいメールをクリックして反転し、[削除]をクリックするか、Del を押します。その時点で、削除済みアイテム（→前ページ）に一時保管されます。削除済みアイテムからも削除するにはそのメールをクリックして反転し、Del を押すか[削除]ボタンをクリックしてください。また、「Outlook Express」終了時にまとめて削除するよう設定することもできます。

アドレス帳を利用する

アドレス帳に登録する

よくメールを送る相手のメールアドレスは、アドレス帳に登録しておくと便利です。

1 「Outlook Express」起動する。（→33ページ）

2 アドレス帳に新規登録する。

3 アドレス帳を終わる。

◀ メッセージの作成画面（→34ページ）からアドレス帳に登録する場合は、「ツール」→「アドレス帳」を順にクリックしてください。

◀ 受信メール一覧画面（→35ページ）でも[アドレス]をクリックしてアドレス帳に登録することができます。

◀ Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。（文字の入力→『セットアップ編』）

◀表示名
姓名の欄に入力した内容がそのまま「表示名」に表示されます。必要に応じて変更してください。「表示名」は、アドレス帳からメールアドレスを入力したときに、「宛先」としてに表示されます（→次ページ）。

Outlook Express を終わるには
→34ページ

インターネット 電子メール

アドレス帳を利用する

登録したメールアドレスを入力するには

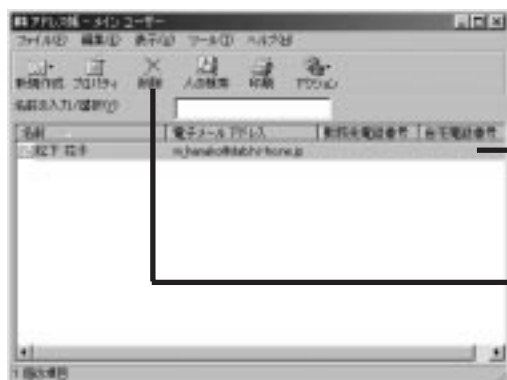
1 「Outlook Express」のメッセージの作成画面を表示する。（→33ページ）

2 アドレス帳のメールアドレスを宛先に入力する。

「宛先」には、登録した「表示名」が表示される。

◀ 複数の宛先を選択することができます。

アドレス帳からメールアドレスを削除するには

1 アドレス帳の画面を表示する。（→前ページ、手順1）

③ 確認メッセージが表示されたら[はい]を クリック

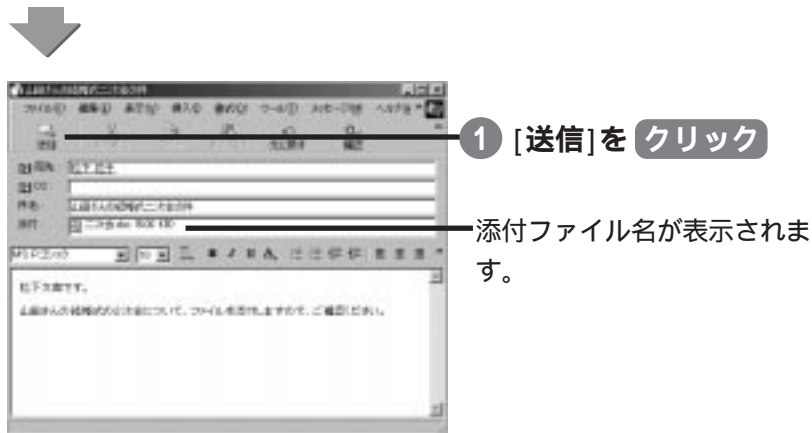
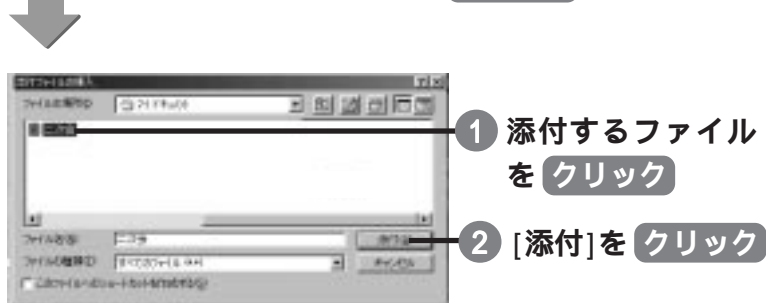
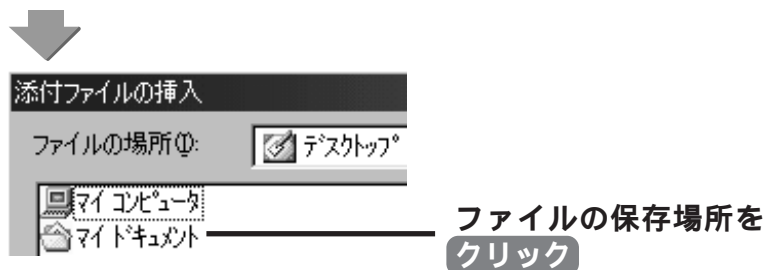
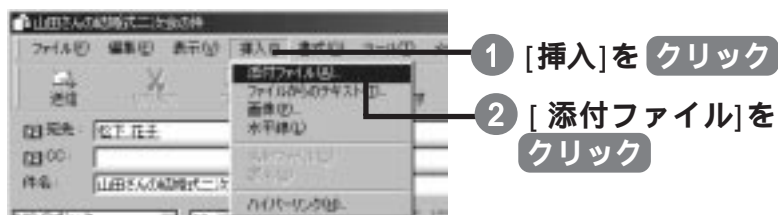
2 アドレス帳を終わる。

Outlook Express を終わるには
→34ページ

メールにファイルを添付して送る

メッセージだけでなく、ワープロソフトで作った文書や画像データなどをメールに添付して送ることができます。

1 メッセージの作成画面を表示し、宛先、件名、メッセージを入れる。（→33ページ）

2 ファイルを添付する。

このあとの操作は、「メールを送信する」（→34ページ）の手順 *4* をご覧ください。

画像や音声の入ったファイルは
ボイスオンメールやムービーオンメールの機能を使って作成すると、簡単にメールに添付して送信することができます。
（→64、66ページ）

◀「My Documents」フォルダーに保存したファイルを添付する例で説明します。

◀フォルダーを開く方法について詳しくは→『セットアップ編』

もしも、添付ファイルを受け取ったら

添付ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って添付ファイルを開くか、保存するかしてください。

Outlook Express を終わるには
→34ページ

インターネット
電子メール

メール着信お知らせ機能を使う

メール着信お知らせ機能とは

プロバイダーのメールサーバーに、定期的に自動接続し、メールが着信しているかどうかをチェックする機能です。新しいメールが着信していると、本体の「メール着信ランプ」を点灯してお知らせします。

メール着信ランプ
（オレンジ色）

メール着信お知らせのために必要なこと

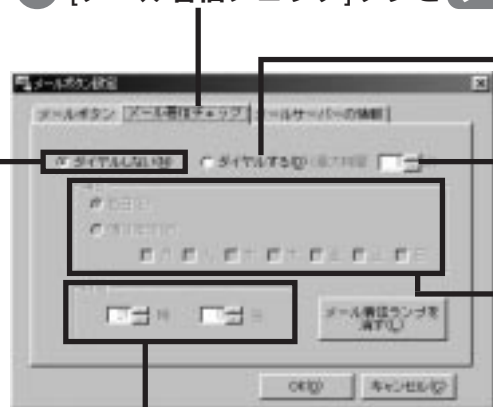
・電話回線に接続しておく。（→10ページ）
・プロバイダーへの加入と各種接続設定を済ませておく。
　「インターネットスターター」が便利です。（→11ページ）
・メール着信チェックのための設定をする。（→下記〜次ページ）
　（メール着信チェック設定・メールサーバー情報設定）
・コンピューターの電源を入れるか、休止状態にしておく。
　（→次ページ）

◀ メール着信のチェックには、電話料金と接続料金が必要です。

メール着信チェックの設定

1 タスクバーの をダブルクリックする。

2 着信チェックをする曜日や時刻を設定する。

❶ [メール着信チェック]タブを クリック

❷ 「ダイヤルする」を クリック

ダイヤルする場合、回線に接続している最大時間を指定します。

チェックする日を指定します。

メールをチェックする時刻を指定します。

メール着信チェックをしない場合に選びます。

◀ メール着信中でも設定した最大時間を経過すると、回線は切断されます。

◀ ダイヤルアップが登録されていない場合、ダイヤルアップネットワークを作成する画面が表示されます。

続いて「メールサーバーの情報」（→次ページ）を設定する場合、次ページの手順2に進んでください。

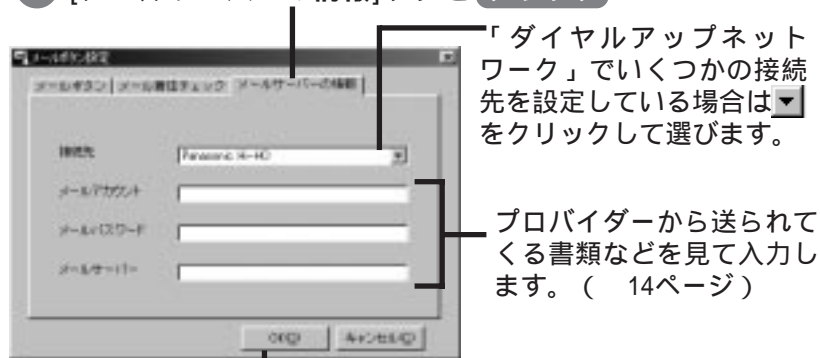
メールサーバー情報の設定

1 タスクバーの をダブルクリックする。

2 プロバイダーのメールサーバーに接続するための設定をする。

❶ [メールサーバーの情報]タブを クリック

「ダイヤルアップネットワーク」でいくつかの接続先を設定している場合は をクリックして選びます。

プロバイダーから送られてくる書類などを見て入力します。（→14ページ）

❷ 各項目を設定したら[OK]を クリック

3 正しく設定できたか確認する。
（→右記）

お願い

メールサーバーの情報が正しく設定できたか、以下の手順でメール着信ランプの点灯を確認してください。

①自分宛にメールを送り、「Outlook Express」を終了する。（→33、34ページ）

②タスクバーの をクリック。

③[メール着信チェック]をクリック。

④しばらくして（1～2分間）、メール着信ランプが点灯するのを確認する。

点灯しない場合は、メールサーバー情報が正しいかを確認し、必要に応じて修正してください。

メール着信お知らせ機能を使う

1 コンピューターの電源を「入」にするか、休止状態にしておく。

設定した時刻になったら、自動的に本機能が起動します。新しいメールが着信していたら、メール着信ランプが点灯します。
その後、元の状態（電源「入」のままか、休止状態）に戻ります。

2 メール着信ランプを消す。

次の方法があります。

＜メールを受信する＞
メールボタンを押して、メールを受信します。

＜「メールランプを消す」を選ぶ＞

①タスクバーの アイコンをクリックする。

②[メールランプを消す]をクリックする。

お願い

本機の電源が切れている状態またはメールボタン設定の画面を開いていると、設定した時刻になってもメール着信お知らせ機能が働きません。（メールボタン設定の画面は閉じておいてください。）

メールボタンについて
（→次ページ）

「休止状態」について（操作方法は→『活用編』（本体））

作業中の状態をハードディスクに記憶し電源を切る機能です。（次に電源を入れたときには、前回作業していた状態が表示されます。）ただし、コンピューターのためには定期的に（1週間に１回程度）「休止状態」機能を使わずに「Windowsの終了」操作をして電源を切る必要があります。

メールボタンを使って自動送受信する

メールボタンについて

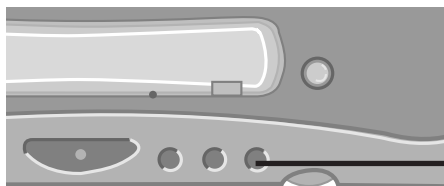
メールボタンを押すと、インターネットに接続し、「Outlook Express」を起動して、メールを自動送受信します（あらかじめ、下記の準備が必要です）。
また、メールボタンを押したときに、メールソフト（Outlook Express）以外のアプリケーションを起動するように設定を変更することができます。

◀ メールボタンは、メールソフト「Outlook Express」にのみ対応しています。

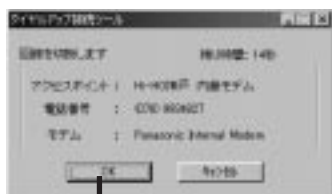
メールボタンを使うために必要なこと

- 電話回線に接続しておく。（→10ページ）
- プロバイダーへの加入と各種接続設定を済ませておく。
  「インターネットスターター」が便利です。（→11ページ）
- メールサーバーの情報を設定する（→41ページ）

また、必要に応じてメールボタンの動作を変更できます。（→次ページ）

メールボタンを使って送受信する

メールボタンを約1秒間*押します。

*コンピューターの電源が入っているときに押した場合：
　ピッという音が鳴ったことを確認して手を離してください。
　（音量を最小にしている場合、音は鳴りません。）
コンピューターの電源が切れているとき、または休止状態のときに押した場合：
　電源表示ランプが点灯したことを確認して、手を離してください。

インターネットに接続し、「Outlook Express」を起動して、メールを自動送受信します。
メール着信ランプが点灯していた場合は、消灯します。

メールの送受信が終了したら、回線の切断を確認する画面が表示されます。（次ページで設定をしている場合のみ）

[OK]を クリック

自動送信とは
　送信トレイ（→35ページ）にメールを入れておいた場合、メールボタンを押すと、送信トレイのメールが送信されます。

お願い

- メールの送信が完了するまで、キーボード、マウスは操作しないでください。（下記パスワードは除く）
- メールの送受信中にエラーメッセージが表示された場合は、[非表示]をクリックしてください。

◀ 初めてメールを送受信するときや、メールパスワードを保存していないときは、メールパスワードを入力する必要がある場合があります。（インターネットスターターを使用したかたは、14ページのメモを参照してください。）

◀ この画面は、他の画面の後ろに隠れてしまうことがあります。その場合、タスクバーの「ダイヤルアップ接続ツール」をクリックしてください。

メールボタンの動作を変更する場合は

1 タスクバーの をダブルクリックする。

2 [メールボタン]タブをクリックし、設定する。

メールボタンを押したときに、メールの自動送受信をするか、特定のアプリケーションを起動するかを選びます。

自動的に切断する場合、メールの送受信中でも設定した時間を経過すると、強制的に回線を切断します。

接続の自動切断時に確認のメッセージを表示するかどうかと、何秒間表示するかを設定します。

起動するアプリケーションを指定します。
[参照]をクリックすると、ファイルを開く画面が表示されます。起動するアプリケーションを選んで[開く]をクリックしてください。

各項目を設定したら[OK]を
クリック

お願い

メールボタン設定画面を開いていると、メールボタンを使ってもメールの送受信が行えません。メールボタン設定画面は閉じておいてください。

コンピューターの状態とメールボタンの動作

コンピューターの状態	メールボタンを押したときの動作
電源が入った状態	設定された機能を実行します。
電源が切れた状態	電源を入れた後、設定された機能を実行します。*
休止状態	リジューム後、設定された機能を実行します。*

* 機能実行後は、電源が入ったままになります。その後放置すると、設定されている省電力機能が働きます。

「休止状態」について（操作方法は→『活用編（本体）』）

作業中の状態をハードディスクに自動で記憶し電源を切る機能です。（次に電源を入れたときには、前回作業していた状態が表示されます。）ただし、コンピューターのためには定期的に（1週間に１回程度）「休止状態」機能を使わずに「Windowsの終了」をして電源を切る必要があります。

用 語

リジューム　：休止状態から次に電源を入れたときに元の状態に戻ることをいいます。

イラストメールを送信する

イラストメール機能を使って、文字で形作られたイラストサンプルの中から好きなイラストを選んで、電子メールで送ってみましょう。
たくさんのイラストサンプルの中から、用途やそのときの気分に合ったものを選ぶことができます。また、イラストの登録や削除を自由に行い、自分専用のイラスト集を作ることもできます。

◀ 選んだイラストは、いったんクリップボードにコピーして文書に貼り付けることもできます。

イラストメールを送信する

ここでは、選んだイラストを電子メールに挿入して送信するまでの手順について説明します。

1 使用するメールソフトの環境を設定する。

使用するメールソフトで、フォントを「MSゴシック」などの等幅フォントに設定し、送信の形式をテキスト形式に設定してください。
また、[E-メール]を使ってメールソフトを起動するには（→49ページの手順7）、メールソフトをMAPI対応に設定しておく必要があります。

◀ 字詰めを行う「MS P ゴシック」などを使用すると、イラストがくずれる場合があります。また、HTML形式に設定していると、一部の文字が別の制御コードに変換され、イラストが正しく表示されないことがあります。

MAPI対応の設定
メールソフトによっては、はじめからMAPI対応になっているものもあります。また、MAPI対応にはできないものもあります。
Outlook Express 5は、はじめからMAPI対応になっています。

◀ その他の主なメールソフトについては、イラストメール画面で[ヘルプ]→[イラストメールのヘルプ]をクリックして、「表示フォントの設定方法」と「MAPIの設定方法」をご覧ください。

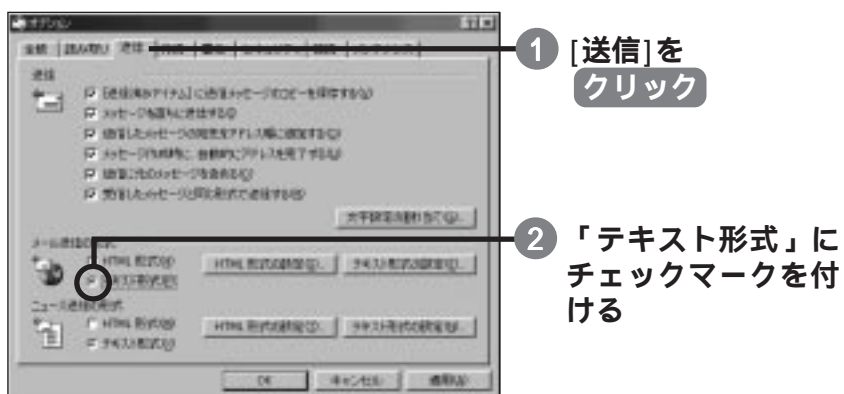
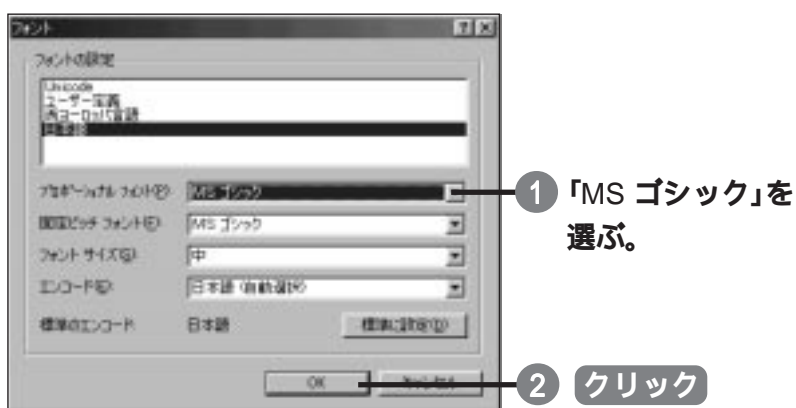
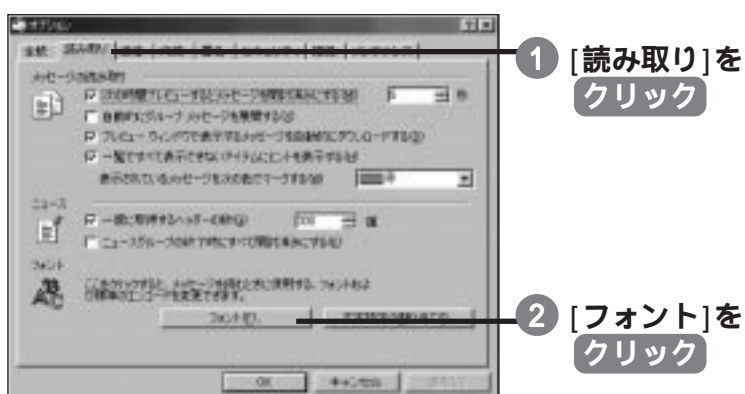
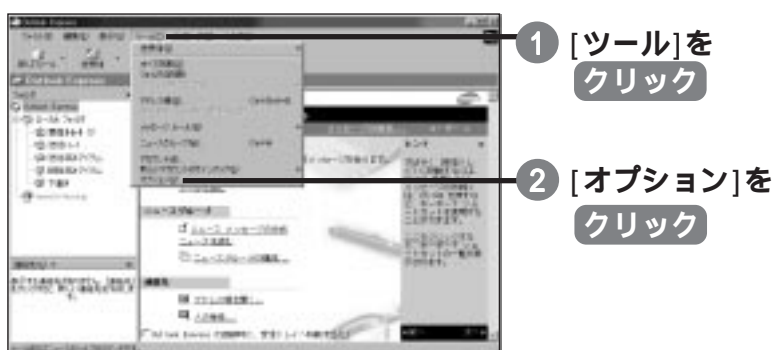
<Outlook Express 5を使用する場合の設定方法>

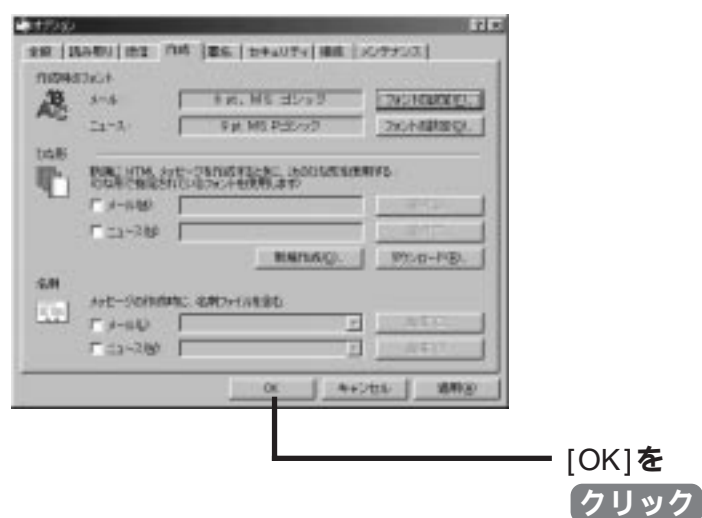
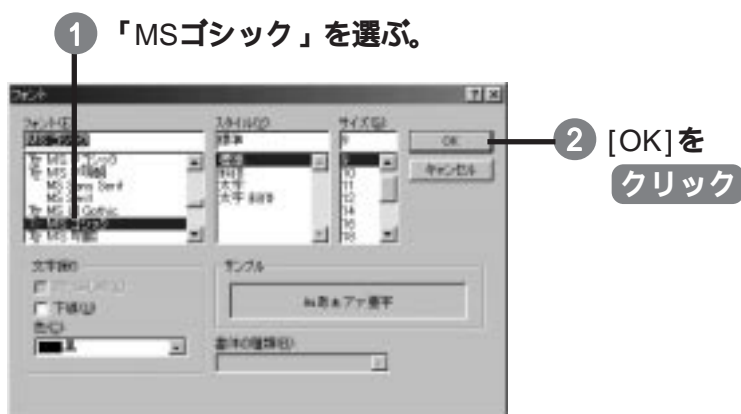
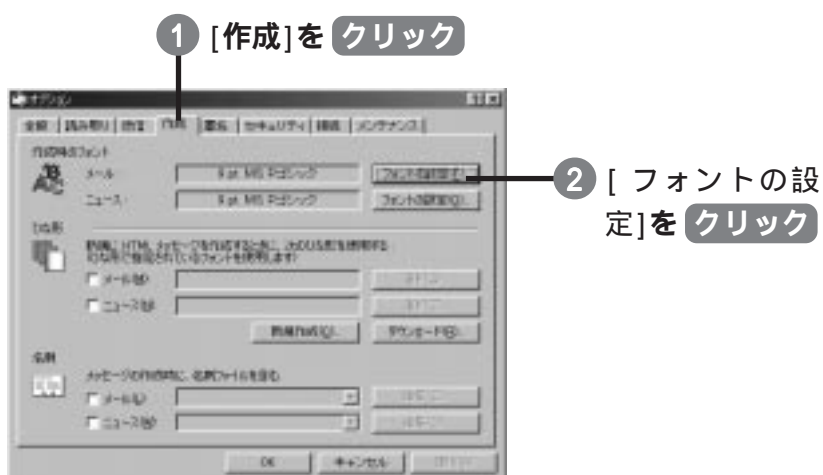
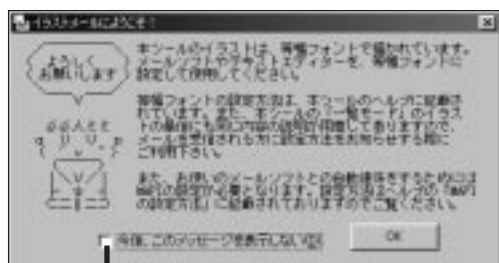
❷ エラーメッセージが表示されたら、[表示しない]を クリック

（次ページへ続く）

用 語

MAPI (Messaging API)	：電子メッセージングアプリケーションのための標準システムインターフェースのことで、アプリケーションが個別に持っている情報を一元的に管理します。

1 [ツール]を クリック
2 [オプション]を クリック
1 [読み取り]を クリック
2 [フォント]を クリック
1 「MS ゴシック」を選ぶ。
2 クリック
1 [送信]を クリック
2 「テキスト形式」にチェックマークを付ける

（次ページへ続く）

イラストメールを送信する

2 デスクトップの[イラストメール]アイコンをダブルクリックする。

次回起動時からこの画面を表示したくなければ、ここにチェックマーク✓を付ける。

◀[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[イラストメール]をクリックしても、起動することができます。

3 画面の説明を読んで、[OK]をクリックする。

イラストのジャンルを示す「フィーリングマップ」を切り換えます。

表示中のイラストをクリップボードにコピーします。

電子メールのメッセージ作成画面を起動します。

イラストの候補を表示します。

自分でテキストイラストを作り、登録します。

メールソフトを始めた後でイラストを入れたい場合は

左記では、イラストメールでイラストを選んでからメールを作成する手順を説明しています。メールソフトを始めた後でイラストを入れたい場合は、次のようにします。

①メールソフトのメッセージの作成画面を表示する。(Outlook Expressの場合→33ページ)

②イラスト入れる位置にカーソルを移動する。

③イラストメールを起動し、イラストを選ぶ。(左記手順2〜5)

④イラストメールの画面で[コピー]をクリックし、[OK]をクリックする。

⑤メールソフトの画面でコピーしたイラストを貼り付ける。(Outlook Expressの場合、[編集]→[貼り付け]をクリックする。)

4 [フィーリングマップ]をクリックして、マップの種類を選ぶ。

マップには、下記の3種類があります。

春夏秋冬：季節にあったイラストを選ぶことができる。
喜怒哀楽：感情や感性にあったイラストを選ぶことができる。
用途別　：「祝福」や「案内」など様々な用途にあったイラストを選ぶことができる。

◀[フィーリングマップ]をクリックするごとに、3種類のマップが順に切り換わります。

5 フィーリングマップ上をクリックしてイラストを選ぶ。

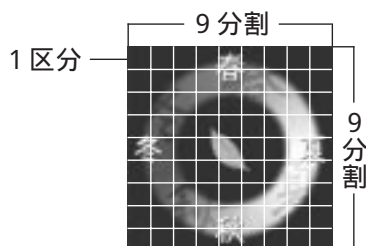
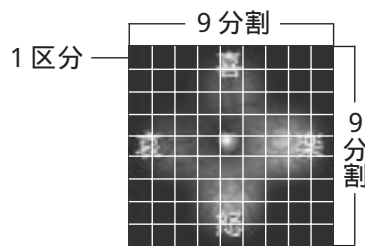
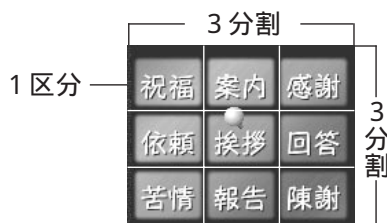
例えば「春」と表示された周辺をクリックすると、春らしいイラストを選ぶことができ、「夏」と表示された周辺をクリックすると、夏らしいイラストを選ぶことができます。

◀クリックした位置にポインター(✎、♡、○)が移動します。

イラストメールを送信する

フィーリングマップの区分について

各区分に対して、複数個のイラストが登録されています。
[次候補]をクリックすると、選んだ区分に登録された次の候補が表示されます。[前候補]をクリックすると一つ前の候補が表示されます。

「春夏秋冬」の場合

「喜怒哀楽」の場合

「祝福」「案内」など用途別の場合

◀ポインター（、、）は、←、→、↑、↓で各区分ごとに移動させることもできます。

学習機能について

学習機能とは、使用頻度の高いイラストが優先的に表示されるように、フィーリングモードでの表示順序を入れ替える機能です。一覧モード（→下記）の順番は入れ替えません。学習機能を使用する場合は、イラストメール画面で[設定]→[学習ON]をクリックしてチェックマークを付けてください。工場出荷時には学習ONに設定されています。

<表示順序を工場出荷時の状態に戻すには>

イラストメール画面で[設定]→[学習内容のリセット]をクリックしてください。ただし「学習ON」にチェックマークが付いていない状態では、「学習内容のリセット」を選ぶことができません。

一覧モードでイラストを選ぶ方法

表示モードを切り換えてイラストを一覧から選ぶこともできます。

①[表示]→[一覧モード]をクリックする。
　イラストが一覧で表示されます。[次ページ][前ページ]をクリックすると、ページ単位で画面表示が切り換わります。

②好きなイラストをクリックする。または、←、→、↑、↓を使って選ぶ。
　選択されたイラストは青色の枠で囲まれます。
　フィーリングモードに戻したい場合は、[表示]→[フィーリングモード]をクリックしてください。

6 [設定]をクリックし、「E-メール連携ON」にチェックマーク✓が付いていることを確認する。

工場出荷時には、すでにチェックマークが付けられています。

◀チェックマークが付いていない場合は、「E-メール連携ON」を選んでチェックマーク✓を付け、確認のメッセージが表示されたら[ON]をクリックしてください。

お願い

[E-メール]を使ってメールメッセージ作成用画面を起動したい場合は、必ず「E-メール連携ON」にチェックマークを付けてください。

7 [E-メール]をクリックする。

確認のメッセージが表示された場合は、内容を確認のうえ、[はい]をクリックしてください。
選んだイラストが挿入された状態で、メールメッセージ作成用の画面が起動します。

「Outlook Express」の場合

お願い

[E-メール]を使ってメールメッセージ作成用画面を起動するには、メールソフトをMAPI対応に設定しておいてください。（→次ページ手順1）

◀[E-メール]を使用時には、メールメッセージ作成用画面に署名を自動で追加することはできません。

◀[コピー]をクリックすると、選んだイラストがクリップボードにコピーされます。2つ以上のイラストをメッセージに挿入する場合や、イラストを文書に貼り付ける場合などにご利用ください。

8 宛先、メッセージ等を書き加えて、メールを送信する。

◀送信のしかたなどについて詳しくは33、34ページをご覧ください。

テキストイラストを挿入した文書を読む

- フォントを「MSゴシック」などの等幅フォントに設定しておく必要があります。字詰めを行う「MS Pゴシック」などを使用すると、イラストがくずれる場合があります。
  イラストサンプルの中に、主なメールソフトの等幅フォントの設定についての説明文を用意しています。（一覧表示モードの最後のほうにあります。）テキストイラストをはじめて読むかたには、メッセージにその説明文を挿入して送ると便利です。内容は[ヘルプ]→[イラストメールのヘルプ]の「表示フォントの設定方法」と同じです。
- 一部のメールソフトやワープロソフト、また携帯電話のメール機能では、連続するスペースを省略するなど自動的に文字列を変換するものがあります。その場合、等幅フォントに設定しても、イラストが正しく表示されないことがあります。

イラストメールを送信する

自分専用のテキストイラスト集を作る

自分で作成（変更）したイラストを登録する

1 フィーリングモードまたは一覧モードから元となるイラストを選んで（44ページ手順1〜47ページ手順5）、[登録]をクリックする。

2 イラストを編集する。

他のテキストエディター（メモ帳など）で作成したテキストイラストを登録したい場合には、いったんそのイラストをクリップボードにコピーした後、[貼り付け]を クリック

表示されているイラストを削除して、新規にイラストを作成する場合は、[クリア]を クリック

◀桁数：全角24文字、行数：10行の範囲内で編集してください。
また、半角カタカナ、ローマ数字、丸数字や一部の記号など、通常、電子メールソフトで正しく表示されない文字は使用しないでください。
送信したイラストが正しく表示されない場合があります。

3 イラストが完成したら、[次へ]をクリックする。

◀一つ前の画面に戻るには、[戻る]をクリックしてください。
◀登録操作を途中で中断して終了するには、[キャンセル]をクリックしてください。

4 「春夏秋冬」のマップ上に登録する。

① フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

② クリック

◀表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

5 「喜怒哀楽」のマップ上に登録する。

❶ フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

❷ クリック

◀ 表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

6 用途別のマップ上に登録する。

❶ フィーリングマップ上の登録したい位置を クリック

❷ クリック

◀ 表示されているマップに登録しない場合は、[指定しないで次へ]をクリックしてください。

7 イラストにタイトルなどを付ける。

❶ 「タイトル」と「製作者」を入力する。

❷ クリック

◀ 「タイトル」は全角16文字以内、「製作者」は全角8文字以内で入力してください。

◀ 最初、「製作者」にはWindowsのログイン名（ユーザー名）が表示されています。

フィーリングマップ上の指定した位置に、イラストが登録されます。
一覧モードでは、一番最後の位置に登録されます。

登録されているイラストを削除する

1 フィーリングモードまたは一覧モードから、削除したいイラストを選んだ状態で、[編集]→[イラスト削除]をクリックする。

2 確認メッセージが表示されるので、よければ[はい]をクリックする。

お願い

一度削除したイラストは、元に戻すことはできません。よく確認してから削除してください。

DVキャプチャー機能について

デジタルビデオカメラ（別売り）を本機に接続して、以下のDVキャプチャー機能を使うことができます。
・撮影した映像をコンピューターで再生する。
・撮影した映像やデジタルビデオカメラからの入力の一部を動画ファイルや静止画ファイルとして保存する。
・ファイルに保存した内容を表示・再生する。

デジタルビデオカメラを接続する

以下のものを準備してください。
・デジタルビデオカメラまたはDVデッキ（別売り）
・i.LINKケーブル（別売り）
・映像が録画されたミニDVテープ（別売り）

i.LINKケーブル
本機のi.LINK端子とデジタルビデオカメラのIEEE1394準拠DV端子を接続するケーブル（4ピン-4ピン）です。ケーブルの呼び名は商品によって異なることがあります（DVケーブルなど）。
お問い合わせ先：テクニカルサポートセンター→『活用編（本体）』「保証とアフターサービス」

1 操作を終わり、電源が切れたことを確認する。

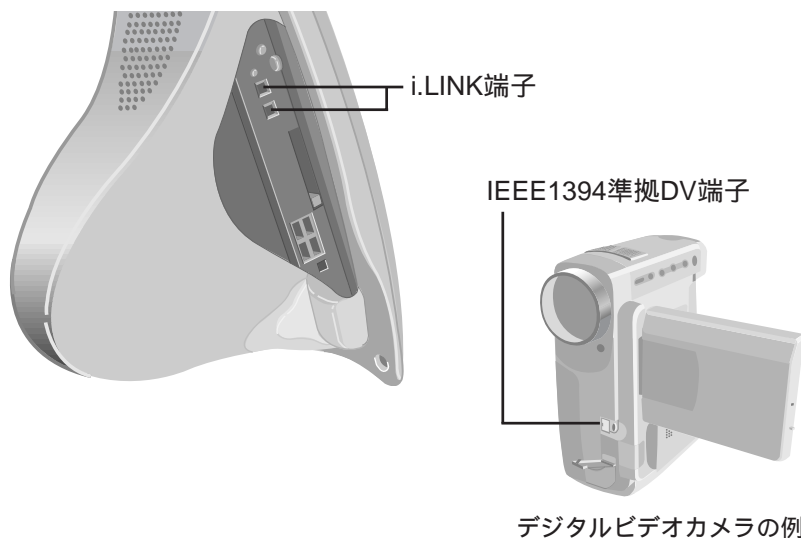
2 本機とデジタルビデオカメラをi.LINKケーブルで接続する。

◀詳しくは
→取扱説明書『セットアップ編』
◀デジタルビデオカメラに付属の説明書も参照してください。

デジタルビデオカメラの例

お願い
「ＤＶキャプチャー」では２つのi.LINK端子を同時に使用しないでください。

撮影した内容をキャプチャーする場合
デジタルビデオカメラに撮影済みミニDVテープをセットし、再生モード（VTR）にします。

デジタルビデオカメラからの入力をキャプチャーする場合
デジタルビデオカメラを撮影モードにします。

3 デジタルビデオカメラと本機の電源を入れる。

◀初めて接続したときには、デバイスの組み込みを行う画面が表示されることがあります。

DVキャプチャーを起動する前に
・キャプチャードライバー、オーバーレイ機能、Direct DrawおよびDirect Soundを使用したゲームなどの動画表示アプリケーションソフトは終了してください。
・画面のプロパティの画面領域・色数を以下のいずれかの設定にしてください。
800 x 600 ピクセルで、High Color（16ビット）またはTrue Color（24ビット）またはTrue Color（32ビット）
1024 x 768 ピクセルで、High Color（16ビット）またはTrue Color（24ビット）

DVキャプチャーを起動する

1 デジタルビデオカメラを接続する。→ 前ページ

2 デスクトップの をダブルクリックする。

*1 [一時停止]ボタンを押した状態で[早送り]ボタンを押すとスロー再生になります。

*2 [一時停止]ボタンを押した状態で[巻き戻し]ボタンを押すと逆スロー再生になります。

◀「DVキャプチャーを起動する前に」に従って、設定や操作を行っておいてください。→前ページ下欄

◀カメラ接続後、テープの再生、停止のテストが自動的に行われます。それが終了するまでは「DVキャプチャー」を起動しないでください。

可能な表示サイズについて
- 360 x 240 ピクセル表示
- 最大化表示

最大化ボタンにより映像画面を最大化表示可能（画質は劣化します。）

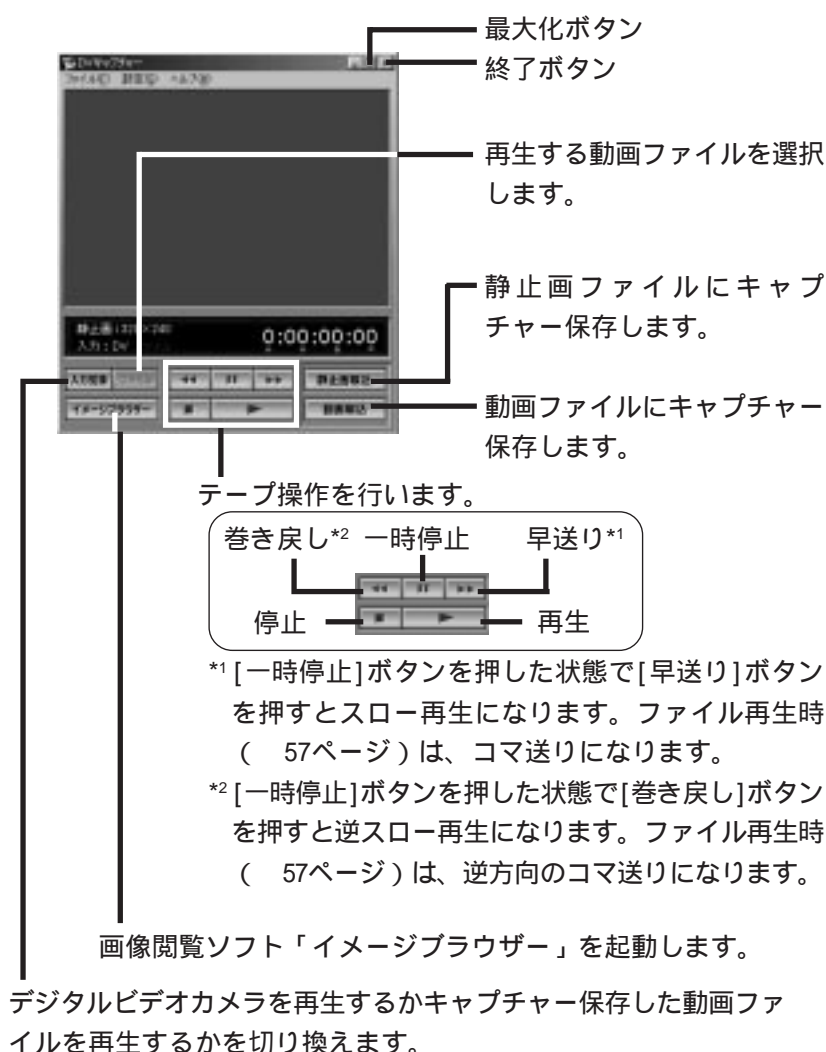
◀DVキャプチャー起動中は、休止状態に入ることができません。

お願い

DVキャプチャーが起動しているときに以下の操作をしないでください。動作が不安定になる場合があります。
- 「画面のプロパティ」での画面領域や色数の変更
- デジタルビデオカメラの電源の入/切。
- デジタルビデオカメラの再生/撮影モード等の切り換え。
- i.LINKケーブルの抜き差し。
- デジタルビデオカメラのボタンを使った再生/停止/早送り/巻戻しなどの操作。

動画キャプチャーを行う前に（コマ落ちを防ぎ、正常に動画キャプチャーを行うために）
- 他のアプリケーションソフトやウィルスチェックなどの常駐プログラムを終了してください。
- 通信機能は使用しないでください。
- 右ボタンでデスクトップ（壁紙）をクリックし、「アクティブデスクトップ」の「WEBページで表示」のチェックマークを外してください。
- [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[デフラグ]をクリックし、Cドライブの最適化を実行してください。

DVキャプチャーを起動する

1 デジタルビデオカメラを接続する。→ 前ページ

2 デスクトップの をダブルクリックする。

*1 [一時停止]ボタンを押した状態で[早送り]ボタンを押すとスロー再生になります。ファイル再生時（→57ページ）は、コマ送りになります。

*2 [一時停止]ボタンを押した状態で[巻き戻し]ボタンを押すと逆スロー再生になります。ファイル再生時（→57ページ）は、逆方向のコマ送りになります。

画像閲覧ソフト「イメージブラウザー」を起動します。

デジタルビデオカメラを再生するかキャプチャー保存した動画ファイルを再生するかを切り換えます。

◀「DVキャプチャーを起動する前に」に従って、設定や操作を行っておいてください。→前ページ下欄

◀カメラ接続後、テープの再生、停止のテストが自動的に行われます。それが終了するまでは「DVキャプチャー」を起動しないでください。

可能な表示サイズについて
- 360 x 240 ピクセル表示
- 最大化表示
  最大化ボタンにより映像画面を最大化表示可能（画質は劣化します。）

◀DVキャプチャー起動中は、休止状態に入ることができません。

お願い

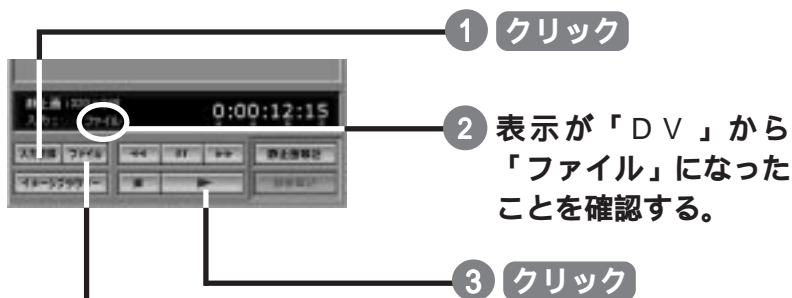
DVキャプチャーが起動しているときに以下の操作をしないでください。動作が不安定になる場合があります。
- 「画面のプロパティ」での画面領域や色数の変更
- デジタルビデオカメラの電源の入/切。
- デジタルビデオカメラの再生/撮影モード等の切り換え。
- i.LINKケーブルの抜き差し。
- デジタルビデオカメラのボタンを使った再生/停止/早送り/巻戻しなどの操作。

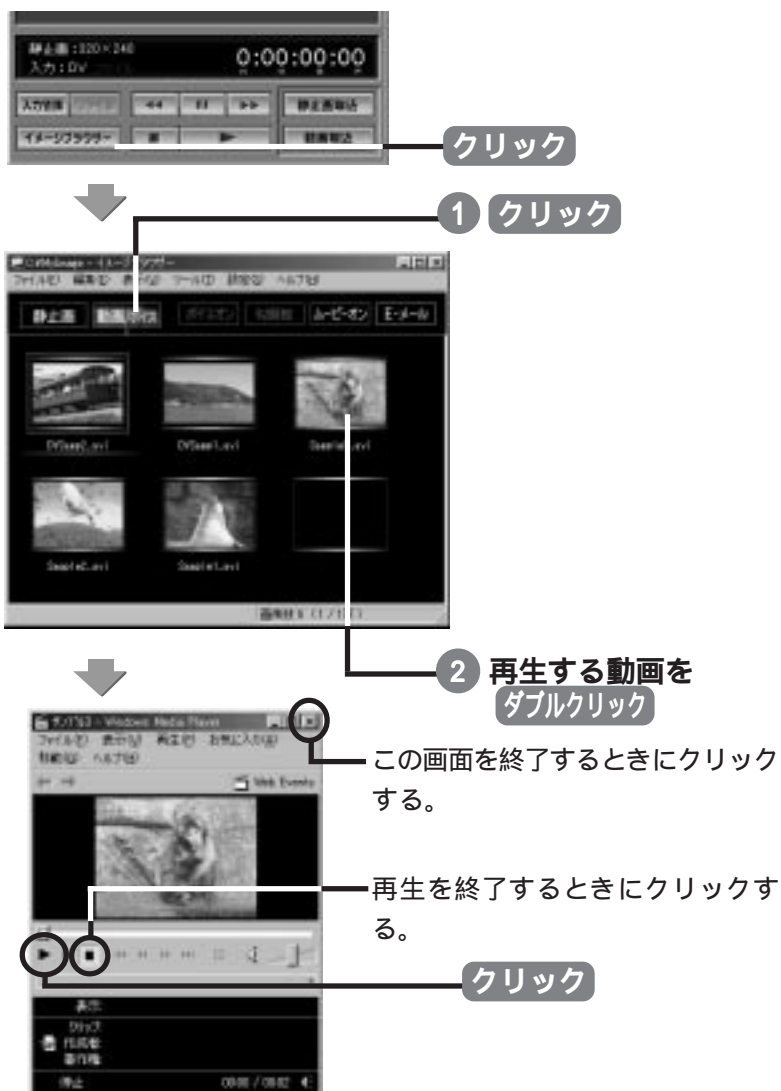
動画キャプチャーを行う前に（コマ落ちを防ぎ、正常に動画キャプチャーを行うために）

- 他のアプリケーションソフトやウィルスチェックなどの常駐プログラムを終了してください。
- 通信機能は使用しないでください。
- 右ボタンでデスクトップ（壁紙）をクリックし、「アクティブデスクトップ」の「WEBページで表示」のチェックマークを外してください。
- [スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[デフラグ]をクリックし、Cドライブの最適化を実行してください。

取り込んだ動画ファイルを再生する

1 DVキャプチャーを起動する。→ 55ページ

2

複数の動画ファイルがある場合、[ファイル]をクリックし、フォルダーと動画ファイル（.AVI）を選んで再生してください。
ただし、DV形式のAVIファイル以外は再生できません。

<再生するファイルをイメージブラウザーから選ぶ場合>

デジタルビデオカメラへの出力

- 再生中のDV形式AVIファイルの映像はi.LINK端子に接続したデジタルビデオカメラにも出力されます。
- キャプチャーしたDV形式のAVIファイルに市販のノンリニア映像編集ソフト（Adobe® Premiere®など）で特殊効果をつけてテープに書き戻し録画することができます。（録画はカメラ側の操作で行います。）

◀最後にキャプチャーした動画、または最後に再生したファイルの再生が始まります。

お願い

PDドライブなど外付けドライブに保存されているAVIファイルは、正しく再生できない場合があります。それらのファイルを再生する場合は、ハードディスクにコピーしてから行ってください。

◀動画の先頭画像を一覧表示します。

◀再生が始まります。

静止画を取り込む

テープに録画した映像の中から、またデジタルビデオカメラの入力からお好みのシーンなどを静止画ファイルとして保存することができます。

1 DVキャプチャーを起動する。→ 55ページ

2 テープを再生し、静止画キャプチャーを行う。

❶ 表示が「DV」になっていることを確認する。

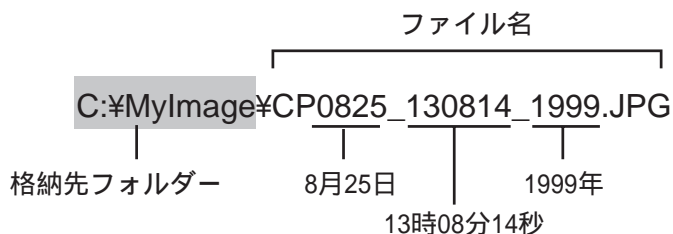
❷ クリック

❸ キャプチャーするシーンになったら[静止画取込]を クリック

◀「DV」になっていない場合は、[入力切換]をクリックしてください。

◀再生が始まります。

◀クリックするごとに1つのファイルとして保存されます。また、「一時停止」ボタンでシーンを確認してから「静止画取込」することもできます。

- 保存可能なファイル形式はJPEGまたはBMPです。（拡張子JPGまたはBMP）
- 工場出荷時は、JPEG形式、320 x 240 ピクセル、約1,600万色のカラー画像でキャプチャー保存され、1画像あたり約30 Kバイトのファイルサイズになります。
- キャプチャー保存したファイルの名称と格納先は、以下のとおりです。ファイル名の一部に作成年月日、時間が自動的に付けられます。
  1999年8月25日13時08分14秒にキャプチャー保存したときの例：

- デジタルビデオカメラの特殊機能（エフェクト、マルチ画面など）は使用できない場合があります。

◀画像の形式やサイズ、色設定は「静止画設定」（次ページ）で変更することができます。この設定により、ファイルサイズは異なります。

◀格納先フォルダーと保存ファイル名を変更することができます。→59ページ

◀同じ時間に複数のキャプチャーが行われた場合、以下のように末尾に番号が追加されます。
CP0825_130814_1999_01.JPG
CP0825_130814_1999_02.JPG
CP0825_130814_1999_03.JPG...
（追加される番号は01から99までです。それ以上は保存できません。）

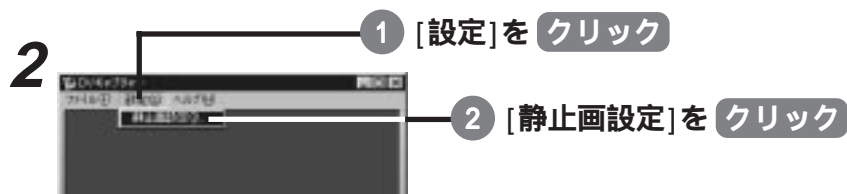
取り込んだ静止画ファイルを見る

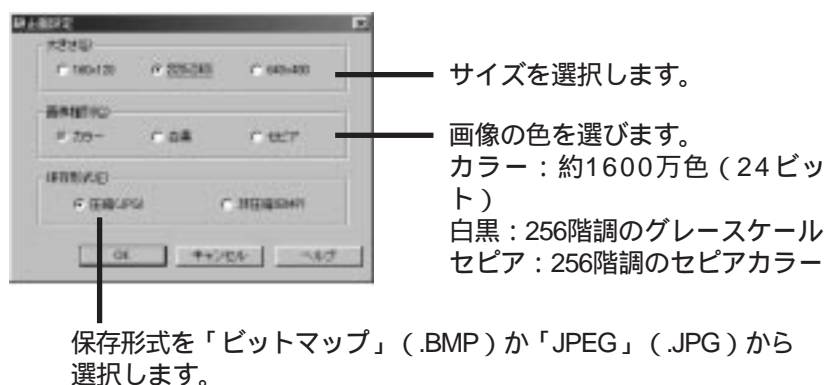
画像閲覧ソフト「イメージブラウザー」で一覧表示したり、拡大表示したりすることができます。→60ページ

クリック

静止画キャプチャーの詳細設定

1 DVキャプチャーを起動する。→ 55ページ

2

3 静止画設定を行い「OK」をクリックする。

保存形式を「ビットマップ」（.BMP）か「JPEG」（.JPG）から選択します。

◀画像のサイズや色設定により、ファイルサイズは異なります。

◀手順2の画面上で右ボタンをクリックしたときに表示されるメニューを使って、設定を変更することもできます。

格納先フォルダーとファイル名の変更

「DVキャプチャー」を起動し、「ファイル」メニューから「格納ファイル設定」を選んで格納先フォルダーやファイル名の設定をすることができます。

格納先フォルダーを変更できます。（ただし、Cドライブ以外には設定できません。）
（工場出荷状態の格納フォルダー：C:\MyImage）

ユーザー指定
ファイル名の先頭に付ける名前（識別コード）を半角8文字以内で自由に指定できます。ただし、以下の文字は使用できません。
\ / : , ; * ? " < > |
（工場出荷時はUSERに設定されています。）
また、末尾につける3けたの数字（ID番号000〜999）の範囲を指定することができます。（ただし、同名のファイルがある場合は上書きされます。）

例：

自動生成
工場出荷時の設定です。
ファイル名の先頭に「CP」が付き、続いて作成年月日、時間が名前の一部に自動的に付けられます。（56、58ページ）

イメージブラウザー機能について

画像閲覧ソフト「イメージブラウザー」には以下の機能があります。
- 画像ファイルをアルバムのように一覧表示する。
- 一覧表示から画像をメール送信する。（→63ページ）
- 静止画に音声を付けてメール送信する。（ボイスオンメール→64ページ）
- イラスト調に加工した画像をメール送信する。（似顔絵メール→68ページ）
- 動画を圧縮しプレーヤーを付けてメール送信する。（ムービーオンメール→66ページ）

ヘルプ機能について
各機能のヘルプもあわせてご覧ください。

画像を一覧表示する

1 デスクトップの イメージブラウザー をダブルクリックする。

ボイスオンメールの起動（→64ページ）
選択した静止画に音声を付けることができます。続けてメールソフトを起動し、音声付き静止画ファイルを添付ファイルにすることができます。

静止画の表示
表示画像フォルダー内のビットマップ形式（.BMP）またはJPEG形式（.JPG）の画像を表示します。

似顔絵メールの起動（→68ページ）
選択されている静止画をイラスト調の画像にすることができます。続けてメールソフトを起動し、それを添付ファイルにすることができます。

動画／ボイスの表示
表示画像フォルダー内のＡＶＩ形式（.AVI）の先頭の静止画像、ボイスオンファイル（.ＰＭＳ）の静止画像またはムービーオンメールやボイスオンメールのファイル（.EXE）の静止画像を表示します。

メール送信
メールソフトを起動し、選択した画像を添付ファイルにすることができます。

ムービーオンメールの起動（→66ページ）
選択した動画をプレーヤー付き実行ファイルに圧縮することができます。続けてメールソフトを起動し、圧縮した動画ファイルを添付ファイルにすることができます。

◀工場出荷時の設定では
「c:\MyImage」フォルダーの内容が一覧表示されます。

表示する画像のフォルダーを変更するには
[ファイル]→[表示画像フォルダの選択]をクリックして、順に選んでください。

TMPWORKフォルダーについて
指定した表示画像フォルダーの下に自動作成されます。このフォルダーは、動画ファイル（.AVI ）の１コマ目の表示などを行うテンポラリーファイル（.BMS ）を格納するためのものです。表示画像フォルダーの下にTMPWORKフォルダーを作成するかどうかは、「ファイル」メニューの「作業フォルダモードの設定」で各ドライブごとに設定できます。

画像を表示する

静止画（.BMP）の場合
「ペイント」が起動し、選んだ画像が表示されます。

静止画（.JPG）の場合
「イメージング」が起動し、選んだ画像が拡大表示されます。

動画（.AVI）の場合
「Windows Media Player」が起動します。「再生」（▶）ボタンをクリックすると動画の再生が始まります。

ボイスオンファイル（.PMS）の場合
「ボイスオンプレーヤー」が起動し、選んだ画像が表示されます。「PLAY」ボタンをクリックすると音声の再生が始まります。

◀各画像をダブルクリックすると、静止画の表示や動画の再生を行うアプリケーションが連携して起動します。

イメージブラウザーのメニューコマンドについて

主なコマンドは以下のとおりです。

ファイルメニュー
- **表示画像フォルダの選択：** 画像を表示するフォルダーを変更します。
- **連携アプリケーションの登録：** 画像を表示するアプリケーションを登録します。
- **連携アプリケーションの選択起動：** 画像を表示するアプリケーションを選択起動します。

編集メニュー
- **画像ファイルのコピー：** 選択した画像を別のフォルダーにコピーします。
- **画像ファイルの削除：** 選択した画像を削除します。

表示メニュー
- **自動更新：** 自動的に最新状態に画面を更新します。
- **表示サイズ：** 一覧表示の表示サイズを変更します。
- **スライド：** 画像の表示を自動的スクロールします。

設定メニュー
- **Eメール起動設定：** →次ページ「メールソフトの設定」

画像をメール送信するには

イメージブラウザーの各メール送信機能を使うと、クリック１つで画像を添付した新規のメール作成画面を開くことができます。送付する画像をファイル名を手がかりに探す必要がなく便利です。
イメージブラウザーのメール送信機能には以下の種類があります。

・静止画や動画を一覧表示から選び、メール送信する。（→次ページ）
・静止画に音声を付けてメール送信する。
（ボイスオンメール→64ページ）
・イラスト調に加工した画像をメール送信する。
（似顔絵メール→68ページ）
・動画を圧縮しプレーヤーを付けてメール送信する。
（ムービーオンメール→66ページ）

◀MAPI対応のメールソフトを使用する必要があります。
また、使用するメールソフトによっては、あらかじめメールソフトを起動しておく必要がある場合があります。

メールソフトの設定

イメージブラウザーの各メール送信機能を使うには、あらかじめ以下の設定が必要です。

1 イメージブラウザーを起動する。→ 60ページ

2 「設定」メニューの「Eメール起動設定」をクリックし、設定を行う。

◀MAPI対応でないメールソフトを使用する場合、「MAPI対応メールソフトを使わない」を選択してください。

MAPI非対応メールソフトの場合

イメージブラウザー、ボイスオンメール、似顔絵メール、ムービーオンメールの「Eメール」をクリックしてもメールソフトの自動起動ができません。あらかじめメールソフトを起動しておいてください。
右のメッセージが表示されたら「はい」をクリックし、送信する画像ファイルを選んでメールソフトに添付してください。

Outlook ExpressまたはOutlook 97/98を使う場合

Outlook ExpressまたはOutlook 97/98でバイナリーデータを添付する場合、受信側の使用するメールソフトによっては、正しく読み取れないことがあります。この場合、Outlook ExpressまたはOutlook 97/98の送信メールの設定で送信メールの形式をテキスト形式にしてください。また、添付ファイル形式をMIME（エンコード方法：なし）にしてください。設定方法の詳細については、Outlook ExpressまたはOutlook 97/98でのヘルプまたはマニュアルをご覧ください。

一覧表示からメール送信する

1 イメージブラウザーを起動する。→60ページ

❶ メール送信する静止画像を クリック

❷ クリック

◀「Eメール起動設定」の画面が表示された場合は、「メールソフト設定」を行ってください。
→62ページ

2 メッセージ等を書いて送信する。

Outlook Express **の画面例**

❶ 宛先、件名、メッセージ等を入力する。

❷ [送信]を クリック

動画ファイルのメール送信
動画ファイルは容量が大きく、そのまま送信することはおすすめできません。
「ムービーオンメール」（→66ページ）で圧縮して送信してください。

静止画に音声を付けてメール送信する（ボイスオンメール）

静止画像に音声を付けたボイスオンファイル（.PMS）を作成することができます。表示・再生には専用のプレーヤー（ボイスオンプレーヤー）が必要になりますが、メール送信用に専用のプレーヤーを付けたファイルを作成することもできます。また、クリック１つで画像を添付した新規メール作成画面を開くことができます。（Windows 95/Windows 98のみ対応）

1 イメージブラウザー（→60ページ）からボイスオンメールを起動する。

◀ボイスオンメールは、デスクトップの をクリックして起動することもできます。

2 音声を録音する。

音声の録音

タスクトレイの をダブルクリックして、マイクが使用できる状態に設定しておいてください。
録音は最大300秒までできます。
録音済みの状態で、再度録音を行うと、以前に録音されたデータは失われます。

◀録音が始まり「停止」ボタンに変わります。

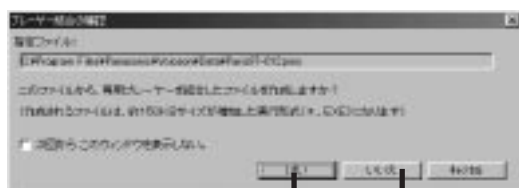
◀録音が終わります。

3 録音内容を確認し、メールソフトを起動する。

ファイル保存

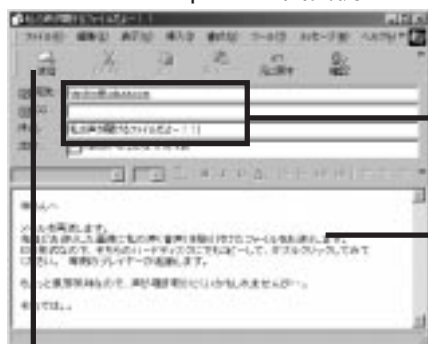
録音した音声は静止画像とともにボイスオンファイルとして保存することができます。（「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選ぶ。）
ボイスオンファイルは、イメージブラウザーの「動画／ボイス」からボイスオンプレーヤーで再生することができます。

◀「Eメール起動設定」の画面が表示された場合は、「メールソフトの設定」を行ってください。
→62ページ

4 ボイスオンプレーヤーを付けるかどうかを選ぶ。

プレーヤーを付けないとき[いいえ]を クリック

プレーヤーを付けるとき[はい]を クリック

5 メッセージ等を書いて送信する。

Outlook Expressの画面例

1 宛先、件名、メッセージ等を入力する。

2 [送信]を クリック

ボイスオンプレーヤー

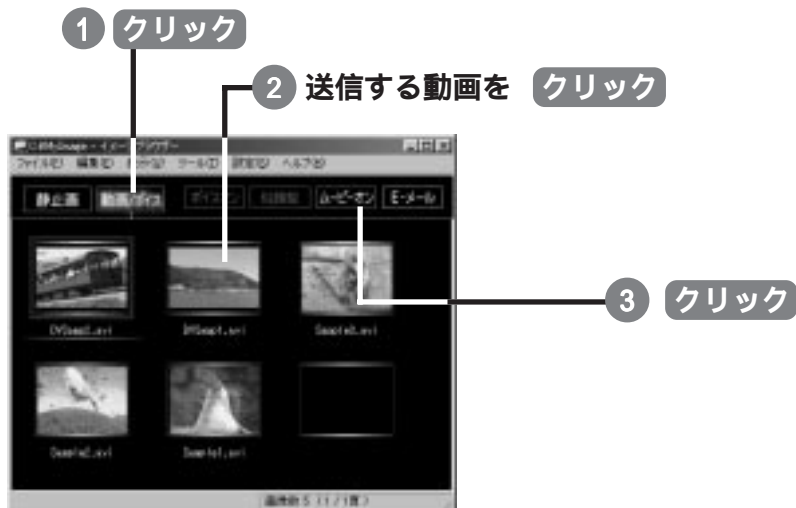
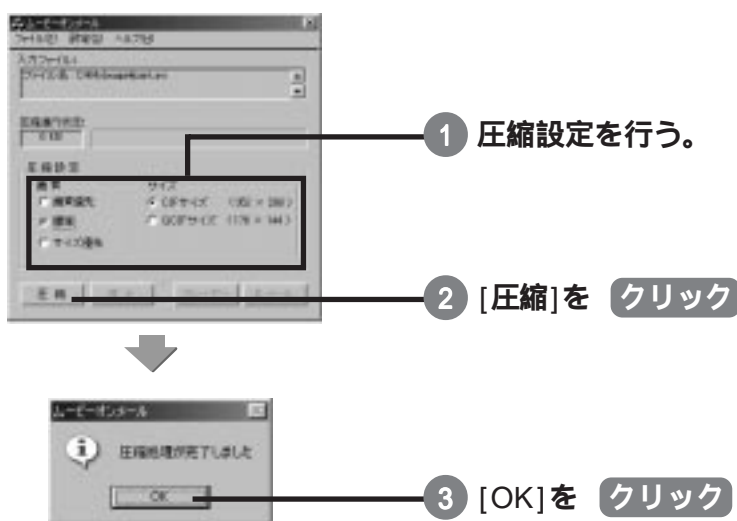
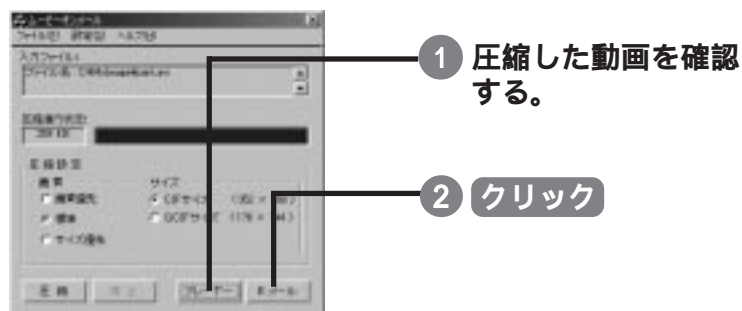
ボイスオンファイルの再生にはボイスオンプレーヤーが必要です。
ただし、ボイスオンプレーヤーは、Windows 98またはWindows 95にのみ対応しています。それ以外の環境では動作しません。
送信先の相手が同じ機種を持っている場合など、プレーヤーを付けなくてよい場合は、「いいえ」をクリックしてください。
「いいえ」をクリックするとファイルサイズが小さくなり、メール送信時間が短くなります。

動画を圧縮してメール送信する（ムービーオンメール）

動画ファイルを圧縮し、プレーヤー（Windows 95/Windows 98のみ対応）を付けて送信することができます。

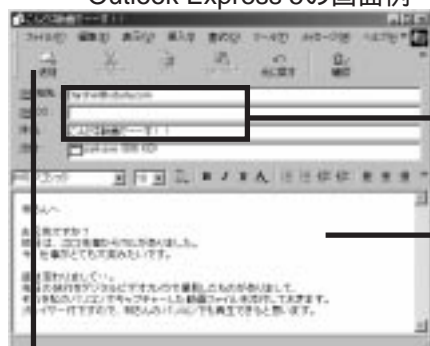
1 イメージブラウザー（→60ページ）からムービーオンメールを起動する。

2 動画の圧縮設定を行い、ファイルを圧縮する。

3 動画の圧縮設定を行い、ファイルを圧縮する。

◀ムービーオンメールは、「DVキャプチャー」で取り込んだ動画ファイルDV形式のAVIファイル（拡張子AVI）に対応しています。
◀ムービーオンメールは、デスクトップ上の をクリックして起動することもできます。

圧縮後の画像について
　画像の縦横のサイズが小さくなります。また、1秒あたりのコマ数を間引いているため、元の動画と比べて動きが滑らかではなくなる場合があります。

◀専用のプレーヤーが起動します。このプレーヤーは、受信側がWindows 98またはWindows 95の場合のみ動作します。それ以外の環境では動作しません。
◀「Eメール起動設定」の画面が表示された場合は、「メールソフトの設定」を行ってください。
→62ページ

画像と活用
画像ファイルの活用

4 メッセージ等を書いて送信する。

Outlook Express 5**の画面例**

イラスト調に加工した画像をメール送信する（似顔絵メール）

静止画像の輪郭を抽出してイラスト調の画像に加工することができます。人物の画像にこの機能を使うと似顔絵のようになります。クリック１つで画像を添付した新規のメール作成画面を開くことができます。

1 イメージブラウザー（→60ページ）から似顔絵メールを起動する。

① クリック

② 加工する画像を クリック

③ [似顔絵]を クリック

◀似顔絵メールは、デスクトップ上の をクリックして起動することもできます。

「似顔絵」をクリックすると加工が始まります。加工には多少時間がかかります。

2 画像の微調整をし、メールソフトを起動する。

① 線の濃さや色などの微調整をする。

② クリック

◀「Eメール起動設定」の画面が表示された場合は、「メールソフトの設定」を行ってください。
→62ページ

3 メッセージ等を書いて送信する。

Outlook Express 5の画面例

① 宛先、件名、メッセージ等を入力する。

② [送信]を クリック

DVD・ビジュアルトップ

DVDビデオを鑑賞したり、ビジュアルトップ機能で美しい動画を表示し本機をインテリアとして楽しむ方法を説明しています。

もくじ

DVD

DVDビデオディスクを鑑賞する方法を説明しています。

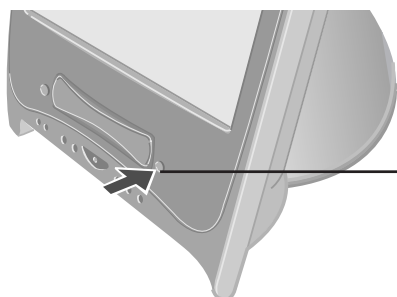
もくじ

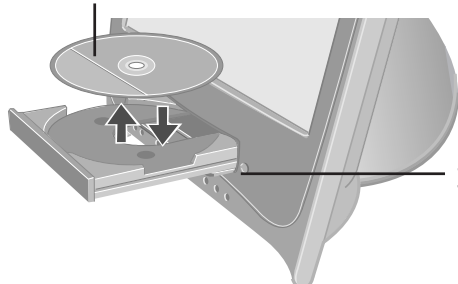
DVDドリームプレーヤーを使う

DVDドリームプレーヤーを使うと、DVD-ROMドライブにセットしたDVDビデオディスクを再生することができます。
DVDドリームプレーヤーを起動する前に、必ず下記「DVDドリームプレーヤーを起動する前に」をお読みください。

DVD ビデオディスクを再生する

1 電源を入れる。（→『セットアップ編』）

2 ディスク取り出しボタンを押す。

取り出しボタンを軽く押して離すと、トレイが出てきます。

3 DVDビデオディスクをセットする。

取り出しボタンを押して、トレイを閉じる。

◀ DVD-ROMドライブについて詳しくは『活用編（本体）』をご覧ください。

DVD ドリームプレーヤーを起動する前に

- ほかのアプリケーションソフトはすべて終了してください。
- 画面のプロパティの画面領域・色数を以下のいずれかの設定にしてください。
  800 x 600 ピクセルで、High Color（16ビット）またはTrue Color（24ビット）またはTrue Color（32ビット）
  1024 x 768 ピクセルで、High Color（16ビット）またはTrue Color（24ビット）
  （→『活用編（本体）』「画面についての設定」）
- DVDドライブの「DMA」設定を「ON」に設定してください。（工場出荷時は「ON」になっています。設定のしかたは、操作パネルの「ヘルプ」で「ドライブ環境の設定」を参照してください。）

DVD ビデオディスクの再生について

- カラオケには対応していません。
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオディスクは再生できません。
  また、DVD-ROMドライブのリージョン番号を変更しないでください。
- DTS（デジタルシアターシステム）には対応しておりません。
- DVDビデオディスクによってはコマ落ちするものがあります。
- DVDドライブの「挿入の自動通知」が「ON」に設定されていない場合は、自動再生できません。設定を変更する場合は、操作パネルの「ヘルプ」で「ドライブ環境の設定」を参照してください。

4 **再生が始まります。**

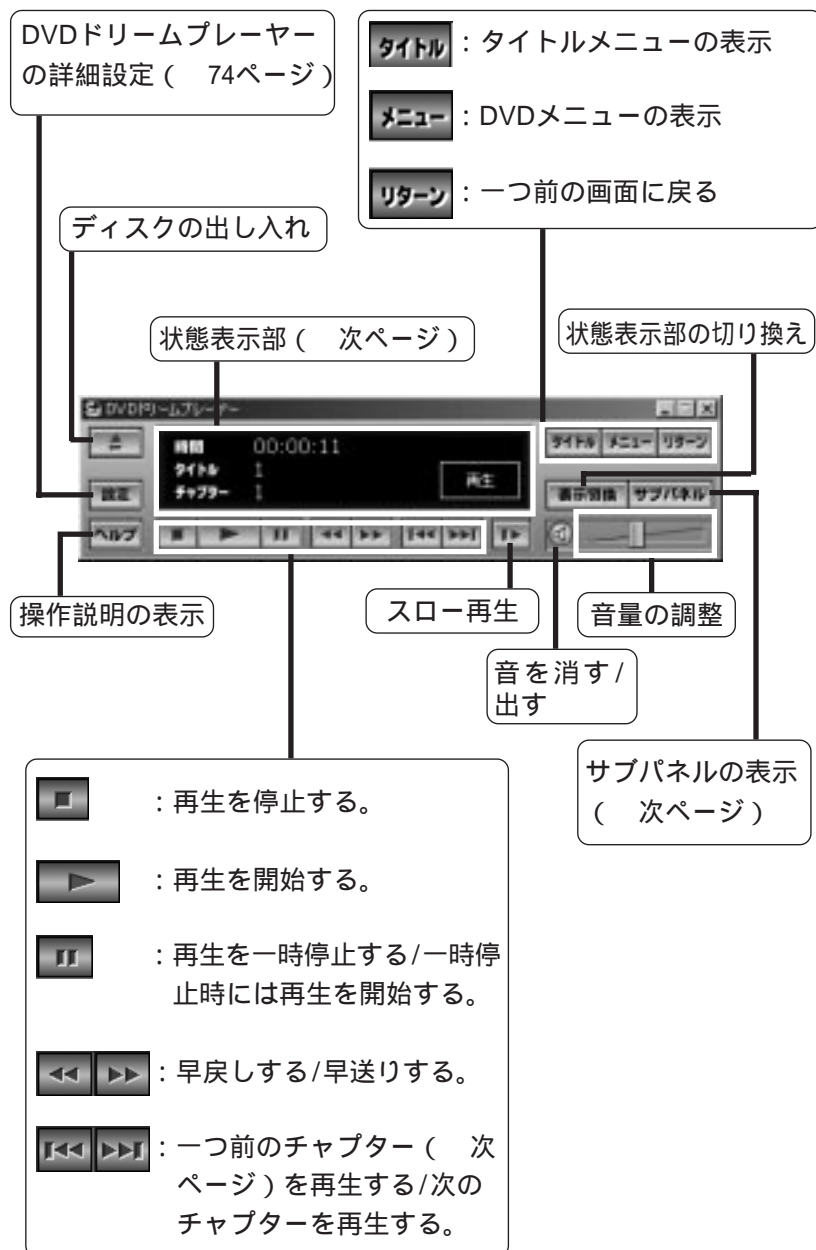
再生を停止する場合は、[■]をクリックする。

操作パネルの[×]をクリックすると、DVDドリームプレーヤーを終了します。

- 再生中は[▲]をクリックしてDVDビデオディスクを取り出さないでください。（再生中は本体のディスク取り出しボタンは無効になります。）また、ほかのアプリケーションやMS-DOSプロンプトを使用したり、画面のプロパティの設定を変更したりしないでください。
- 12時間以上、連続再生しないでください。
- DVDドリームプレーヤー動作中は、Windowsの終了はできません。
- DVDドリームプレーヤー動作中は、スクリーンセーバーや省電力機能を設定していても、無効になります。

その他の起動方法

デスクトップの[DVDドリームプレーヤー]アイコンをダブルクリックします。（DVDビデオディスクが挿入されている場合、自動的に再生を開始します。）

操作パネルの使いかた

タイトルメニュー*

DVDビデオディスクに記録されているひとまとまりの映像をタイトルといいます。複数のタイトルが記録されている場合タイトルメニューが用意されています。

メニュー（DVD メニュー）*

DVDビデオディスクに「DVDメニュー」が用意されていることがあります。編集内容のガイドメニューであったり、多言語対応のメニューであったりします。

*タイトルメニューやDVDメニューが記録されていないディスクもあります。

早送り / 早戻し / スロー再生の速度

再生中にDVD設定の「スピード」で変更することができます。（→74ページ）

DVDドリームプレーヤーを使う

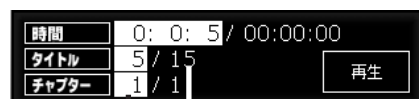
状態表示部

再生や停止の状態を表示します。また、時間、タイトル、チャプター表示から、見たい場面を探したり、音声や字幕の言語、撮影アングルを変えたりすることができます。

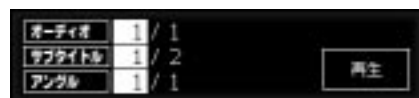
＜状態表示の切り換え＞

操作パネルの 表示切換 をクリックするごとに、下記のように状態表示が切り換わります。

スライダー　再生状態

それぞれの右側にポインター（矢印）を移動すると、スライダーが表示されます。
△をドラッグして、見たい場面を探すことができます。

見たいタイトルやチャプターの番号がわかっている場合に便利です。

選択中の番号/記録されている数

ここをクリックして目的の番号を入力し、Enter を押します。

オーディオ、サブタイトル、アングルを選びます。

サブパネル

DVDビデオディスクによっては、タイトルメニューやＤＶＤメニューを直接クリックしても選択できないことがあります。その場合に、サブパネルを使って選択します。

＜表示のしかた＞

操作パネルの サブパネル をクリックすると表示され、再度クリックすると、表示が消えます。

タイトル
DVDビデオディスクに記録されているひとまとまりの映像。複数のタイトルが記録されている場合もあります。

チャプター
タイトルはさらに複数のチャプターに分かれている場合があります。また、チャプターが複数のシーンに分かれている場合があります。

お願い

ディスクによっては、再生位置の変更を許可していないものがあります。その場合、スライダーをドラッグしたり、番号を入力しても再生位置を変更できません。また、スライダーが表示されない場合もあります。

オーディオ（音声言語）
複数の音声言語が記録されている場合に、言語を選びます。

サブタイトル（字幕スーパーなど）
複数の言語が記録されている場合に、言語を選びます。

アングル
複数のカメラアングルで撮影されたシーンを再生しているときにお好きなアングルを選ぶことができます。

再生画面

映像の再生画面をダブルクリックすると、画面サイズが最大になります。画面サイズを最大にした場合、操作パネルは表示されません。再度ダブルクリックすると、元のサイズに戻ります。

画面の明るさについて

本ソフトは、ビジュアルブライト液晶の高画質化設定により明るく鮮明に表示されます。再生画面に操作メニューや設定画面、他のウィンドウなどが重なった場合、高画質化を停止するため明るさが変化します。（→『活用編（本体）』「ビジュアルブライト液晶の設定」）

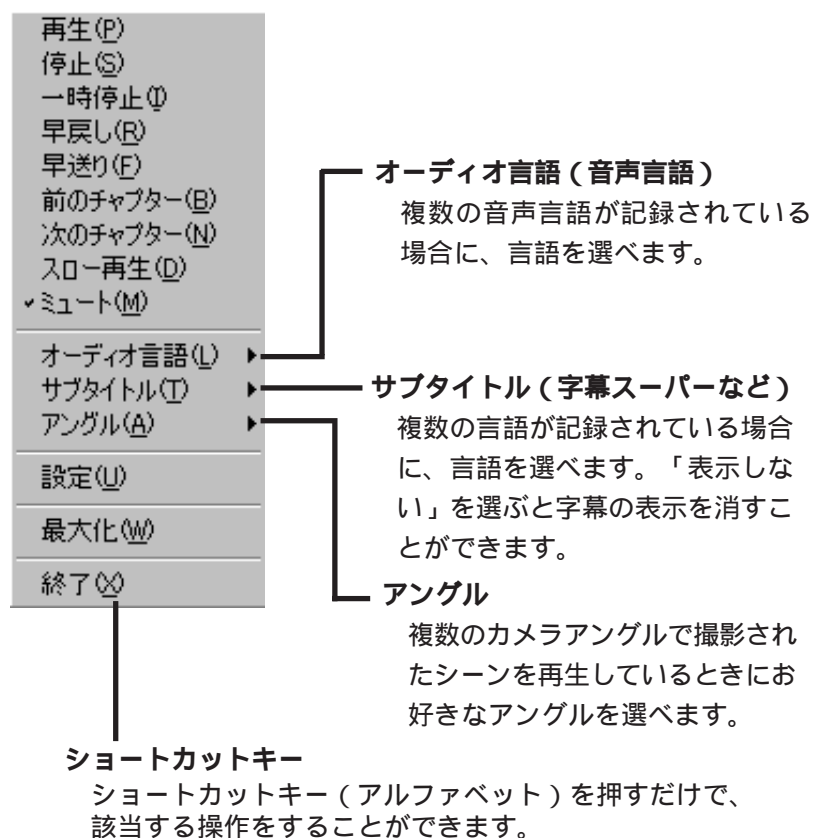
操作メニュー

再生画面上でマウスの右ボタンをクリックすると、操作メニューが表示され、基本的な操作をすることができます。画面サイズを最大にしたときに使用すると便利です。

オーディオ言語（音声言語）
複数の音声言語が記録されている場合に、言語を選べます。

サブタイトル（字幕スーパーなど）
複数の言語が記録されている場合に、言語を選べます。「表示しない」を選ぶと字幕の表示を消すことができます。

アングル
複数のカメラアングルで撮影されたシーンを再生しているときにお好きなアングルを選べます。

ショートカットキー
ショートカットキー（アルファベット）を押すだけで、該当する操作をすることができます。

DVD ドリームプレーヤーについてのお願い

- DVDドリームプレーヤーをアンインストール（削除）すると、DVDドリームプレーヤーだけをインストールすることができません。（ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す必要があります。）
- 他のDVD再生ソフトをインストールすると、正しく動作しなくなる場合があります。

DVDドリームプレーヤーの設定をする

DVD 設定

DVDに関する設定を行います。再生時と再生停止時で設定できる内容が異なります。

1 操作パネルの[設定]をクリックする。

＜再生停止時＞

「視聴制限レベル」「メニュー言語」「画面サイズ」「ドライブ設定」の各設定ができます。

＜再生時＞

「スピード」「クローズドキャプション」「映像調整」の各設定ができます。（一時停止中や静止中に「映像調整」を変更しても反映されません。）

2 必要に応じて設定した後、[OK]をクリックする。

設定内容については

各画面の「ヘルプ」または「説明」を参照してください。

パスワードについて

「視聴制限レベル」（→次ページ）で設定したパスワードは忘れないように正確に記録し大切に保管しておいてください。

DVD 環境設定

DVDドリームプレーヤーの使用環境を設定します。

1 デスクトップの[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[DVDドリームプレーヤー]→[DVD環境設定]を順にクリックする。

ドルビーデジタルで記録されたDVDの音声をステレオで出力するか、ドルビーデジタル音声として本体の光デジタル音声出力端子から出力するかを指定します。

ドルビーデジタル音声を楽しむには、ドルビーデジタルに対応した光入力端子付きの機器が別途必要です。

「速度優先（MC（動き補償）機能使用）」選択時のみ選択できます。

再生モードを選択します。

2 必要に応じて設定した後、[OK]をクリックする。

お願い

設定を有効にするには、DVDドリームプレーヤーを起動し直してください。

設定内容については

各画面の[ヘルプ]をクリックして、参照してください。

ドルビーデジタルについて

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1997年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

速度優先（MC（動き補償）機能使用）

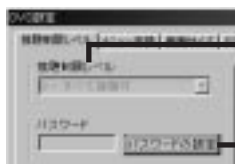
- CPU（中央演算処理装置）の負荷を減らし、速度優先で再生することができます。
- 画面の設定が、1024×768ピクセルでTrue Color（24ビット）の場合は、「標準モード」で再生されます。

工場出荷時の設定に戻すには

「初期設定に戻す」をクリックしてください。

DVD 設定について

＜視聴制限レベル＞

お子様などに見せたくないシーンなどの入ったDVDビデオディスクの再生を制限することができます（視聴制限レベルが記録されているディスクのみ）。パスワードを設定すると、制限レベルを変更することができます。

番号が大きくなるほど、制限レベルが低くなります。
制限レベルが0の場合は、制限レベルが設定されていません。
（工場出荷時は「0-すべて視聴可」）

[パスワードの設定]をクリックして、パスワードを入力します。パスワードを設定するとパスワードを解除することはできません。

＜画面サイズ＞

再生時の画面の縦横比（アスペクト比）を次のように設定します。

・標準
ディスクに記録されているサイズで再生します。ワイド（16:9）のソフトは、画面を最大化した場合、レターボックス方式で表示されます。

・４：３（レターボックス）
映像全体が表示されます。
ワイド（16:9）のソフトは、上下に黒い帯のある画面で再生されます（下表※1）。

・４：３（パン・スキャン）
パンスキャン指定されているワイド（16:9）のソフトは、映像の中央部分が4:3になるようにトリミング（切り取り）して表示されます（下表※2）。パンスキャン指定のないワイド（16:9）は、「レターボックス」方式で上下に黒い帯のある画面で再生されます。

・４：３（固定）
ワイド（16:9）のソフトは画面いっぱいに表示されます（下表※3）。シネマサイズのソフトは「レターボックス」方式で上下に黒い帯のある画面で再生されます。

設定＼元のサイズ	4:3	16:9（ワイド）
標準（工場出荷時）	3 / 4	9 / 16
4:3（レターボックス）	3 / 4	※1 3 / 4
4:3（パン・スキャン）	3 / 4	※2 3 / 4 黒枠内が表示されます
4:3（固定）	3 / 4	※3 3 / 4 縦長に表示されます

DVD

DVDドリームプレーヤー

さくいん

A～Z

あ

か

さ

た

な

は

ま